

281
12



281
12

九州帝國大學一覽

昭和十三年



281
12

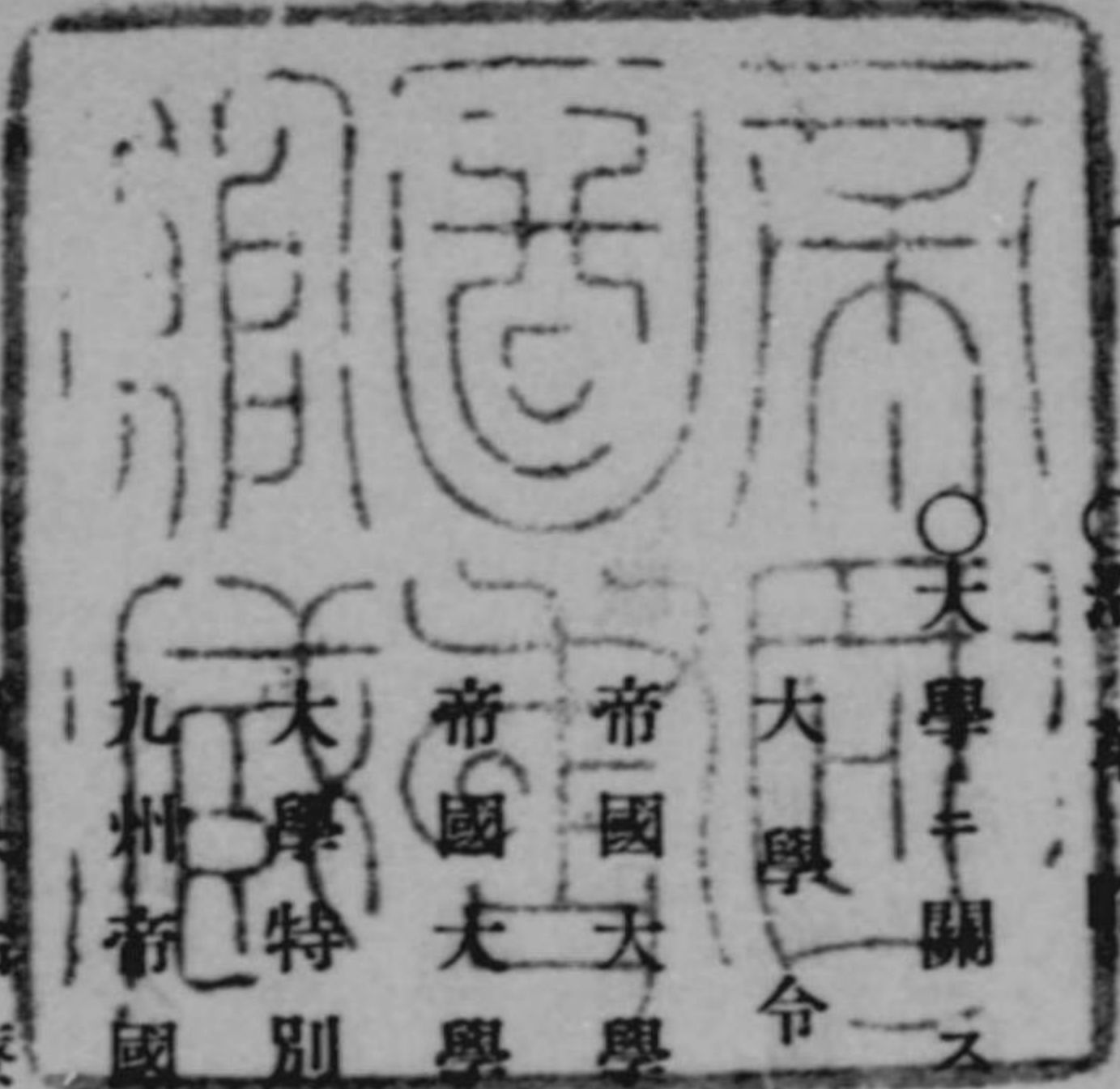
九州帝國大學一覽

(昭和十三年)

發行所寄贈本

目次

○沿革略	一
○大學ニ關スル法令	一九
帝國大學令	三三
帝國大學及其ノ學部ニ關スル勅令	二五
帝國特別會計法	二八
九州帝國大學官制	三一
溫泉治療學研究所官制	三五
九州帝國大學各學部講座	三七
文部部內臨時職員設置制	四一



○學	位	學位令	四二
		學位ニ關スル規程	四二
		學位請求論文審査手續	四七
○職	員	九州帝國大學職員	四七
		醫學部職員	五一
		工學部職員	五一
		農學部職員	六一
		法文學部職員	六二
		溫泉治療學研究所職員	七七
		舊職員	七八
			九六
			一〇三
			一〇四

○通	則	第一章 學年、學期及休業	一一八
		第二章 學部	一二八
		第一節 學生	一二九
		第一 入學	一二九
		第二 授業	一三二
		第三 休學、轉學、退學	一三三
		第四 試驗	一三四
		第五 合格證書、稱號	一三四
		第六 授業料	一三四
		第七 懲戒	一三五
		第二節 外國學生	一三五
		第三章 大學院	一三六
		第四章 特選給費學生	一三八

目次

第五章	選科生	一三九
第六章	專攻生	一四〇
第七章	聽講生	一四二
第八章	獎學資金	一四二
○副手規程		一四五
○圖書館規則		一四五
○圖書閱覽及檢索ニ關スル規程		一五〇
○圖書館商議委員會規程		一五三
○講習會規則		一五四
○醫學部規程		一五四
第一章	修學	一六一
第二章	試驗	一六一
第三章	選科生	一六四
○醫學部附屬醫院規程		一六六

○看護員養成科規則		一六七
○產婆養成科規則		一七一
○防疫委員規程		一七五
○工學部規程		一七六
第一章	入學	一七六
第二章	授業	一七七
第三章	科目試驗	一七九
第四章	學士試驗	一七九
第五章	聽講生	一八〇
○委託學生規程		二二七
○農學部規程		二二八
第一章	學科及修學	二二八
第二章	入學	二二八
第三章	試驗	二二九

目次

第四章 選科生	二三〇
○法文學部規程	二五三
第一章 入學	二五三
第二章 授業	二五四
第三章 試驗	二五六
第四章 在學期間	二六〇
第五章 選科生	二六一
第六章 聽講生	二六一
○溫泉治療學研究所研究生規程	二六二
○各部ノ敷地及建物	二六四
○圖書館	二六六
○印刷所	二七〇
○臨海實驗所	二七一
○生物學研究所	二七一

○醫學部附屬醫院	二七二
○農學部附屬農場、附屬演習林	二七六
○溫泉治療學研究所	二八一
○經費	二八四
○獎學資金	二八六
○集會所	三〇一
○學生生徒ノ異動	三〇一
○學生及生徒姓名	三〇二
第一 大學院學生	三〇二
第二 醫學部學生	三一〇
第三 工學部學生	三一七
第四 農學部學生	三二六
第五 法文學部學生	三三一
第六 專攻生	三三七

○卒業生姓名

醫學士

工學士

農學士

法學士

文學士

經濟學士

○學位錄

○出版

○學友會規則

○附表

學生生徒表

入學志願者及入學者入學前教育別

學生生徒道府縣別

學生年齡表

卒業生表

學士試驗合格者表

○附圖

三四二

三四二

三七九

四五四

四七三

四九三

五〇一

五〇九

五三九

六一三

六二二

六二二

六二四

六二九

六三三

六三八

六三九

○沿革略

九州帝國大學ハ明治四十三年十二月設立セラル是ヨリ先既設東京、京都兩帝國大學ノ外更ニ帝國大

學ヲ九州ニ設置セントスルノ議朝野ノ間ニ唱道セラレキ明治三十六年三月勅令第五十四號ヲ以テ京都

帝國大學ノ一分科トシテ福岡醫科大學ヲ設置セラレ他日九州帝國大學タルノ素地ヲ造ルニ至レリ尋テ

明治三十七八年戰役ハ天ニ國運ノ發展ヲ來シ益々大學増設ノ急ヲ促スニ至リシモ戰後ノ財政ハ容易

ニ之ヲ許サザルノ事情ナリシカ時恰モ敷地及建物ノ寄附申出アリシヲ以テ工科大學増設ニ決シ終ニ明

治四十三年九州帝國大學ノ創立ヲ見ルニ至レリ

明治四十三年 勅令第四百四十八號ヲ以テ九州帝國大學ヲ設置セラレ ○文部省令第三十六號ヲ以テ九

州帝國大學工科大學ハ明治四十四年一月ヨリ開設ノ旨公布セラレ

明治四十四年

一月 九州帝國大學工科大學官制實施セラレ

三月 勅令第四十三號ヲ以テ九州帝國大學官制ヲ定メラレ九州帝國大學工科大學官制廢止セラ

○沿革略

一

ル ○勅令第四十八號ヲ以テ工科大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ定メラル ○文部省令第十一號ヲ以テ工科大學ニ土木、機械、電氣、應用化學、採鑛及冶金ノ六學科ヲ置キ九月ヨリ授業開始ノ旨公布セラレ

二

四月 京都帝國大學福岡醫科大學ハ勅令第四十五號附則ニヨリ此月一日ヨリ九州帝國大學醫科大學トナル ○理學博士山川健次郎九州帝國大學總長ニ任セラレ ○處務規程ヲ定メ大學本部ニ庶務課會計課及學生監室ヲ置ク ○元京都帝國大學福岡醫科大學ニ下賜セラレタル天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ本部ニ轉戴ス

五月 御親署ノ教育勅語ヲ下賜セラレ

七月 九州帝國大學通則及副手規程ヲ定ム

八月 學生ノ制服制帽ヲ定ム

九月 此月十一日ヨリ工科大學ノ授業ヲ開始ス

十一月 臨時建築掛ヲ置ク

明治四十五年

三月 營繕課ヲ置ク

五月 勅令第二百二十三號ヲ以テ官制中改正セラレ學生監兼任ノ制ヲ改メテ專任トシ又教授助教授助手書記及藥劑手ノ定員ヲ增加セラレ ○勅令第二百二十八號ヲ以テ工科大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ改正セラレ ○勅令第二百二十九號ヲ以テ醫科大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ定メラル

七月 第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス

大正二年

三月 醫科大學附屬醫院ニ產婆養成科ヲ置ク

四月 狂犬病研究室ヲ置キ醫科大學衛生學教室ニ附屬セシム

五月 總長理學博士山川健次郎東京帝國大學總長ニ任セラレ文部省實業學務局長兼東京帝國大學工科大学教授工學博士眞野文二本學總長ニ任セラレ

六月 勅令第百八十二號ヲ以テ官制中改正セラレ教授ノ定員ヲ増加シ書記ノ定員ヲ減少セラレ ○勅令第二百四十九號ヲ以テ工科大學ニ於ケル講座ノ數ヲ改正セラレ ○學術上ノ智識ヲ普及スルノ目的ヲ以テ講演會ヲ創設ス

七月 第二回卒業證書授與式ヲ舉行ス

○沿革略

三

大正三年

- 七月 第三回卒業證書授與式ヲ舉行ス
- 八月 勅令第百六十九號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教授及藥劑手ノ定員ヲ増加セララル
- 勅令第百七十二號ヲ以テ工科大学ニ於ケル講座ノ數ヲ改正セララル
- 九月 福岡縣宗像郡津屋崎町ニ醫科大学附屬臨海實驗所ヲ置ク

大正四年

- 七月 第四回卒業證書授與式ヲ舉行ス
- 十月 天皇陛下ノ御眞影ヲ下賜セララル
- 十一月 勅令第二百十號ヲ以テ官制中改正セラレ教授ノ定員ヲ増加セララル ○勅令第二百十一號ヲ以テ工科大学ニ於ケル講座ノ數ヲ改正セララル

大正五年

- 四月 血液反應試驗室ヲ置キ醫科大学皮膚病學微毒學教室ノ附屬トス
- 六月 醫科大学附屬醫院長ハ總長ノ監督ヲ承ケ醫院ノコトヲ掌理シ藥局長ハ醫院長ノ指揮ヲ承ケ調劑ノコトヲ掌理シ且藥物及飲食物ノ試驗ヲ擔任スルノ規定ヲ設ク

七月 第五回卒業證書授與式ヲ舉行ス

九月 勅令第二百十一號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教授及助手ノ定員ヲ増加セララル

十月 皇后陛下 皇太子殿下ノ御眞影ヲ下賜セララル

十一月 天皇陛下本學ニ行幸アラセラレ工科大学ニ於テ列品室實驗室陳列品御巡覽アラセラレ

天覽所ニ於テ標本實驗等ヲ 天覽ニ供ヘ奉ル

大正六年

七月 第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス此時特ニ侍從ヲ差遣ハサレ優等卒業生ニ恩賜品ヲ授與セラル

九月 勅令第百六十六號ヲ以テ官制中改正セラレ助教授助手ノ定員ヲ増加セララル

大正七年

三月 臨時建築掛及營繕課ヲ廢シ更ニ建築課ヲ置ク

四月 醫科大学ニ整形機械製作室ヲ置キ整形外科學教室ノ附屬トシ又附屬醫院ニ「レントゲン」線室及顯微鏡寫眞室ヲ置ク

六月 勅令第二百三十號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教授助手ノ定員ヲ増加セラレ又醫科大

○沿革略

學ニ看護長ヲ置カル ○勅令第二百三十七號ヲ以テ醫科大學ニ於ケル講座ノ數ヲ改正セラル

七月 第七回卒業證書授與式ヲ舉行ス此時特ニ侍從ヲ差遣ハサレ優等卒業生ニ恩賜品ヲ授與セラル

九月 特待學生ノ制ヲ廢止ス

十二月 勅令第三百八十八號ヲ以テ大學令ヲ公布セラル

大正八年

二月 勅令第十二號ヲ以テ帝國大學令ヲ改正セラル ○勅令第十三號ヲ以テ帝國大學及其ノ學部ヲ定メラレ本學ニ醫學部、工學部、農學部ヲ置カレ從前ノ醫科大學、工科大學ハ本令ニ依リ各醫學部、工學部トナリ明治四十三年勅令第四百四十八號（九州帝國大學設置ニ關スル件）廢止セラル ○勅令第十七號ヲ以テ本學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ定メラレ明治四十四年勅令第四十八號（工科大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數）及明治四十五年勅令第二百二十九號（醫科大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數）廢止セラル

三月 法律第十一號ヲ以テ帝國大學特別會計法中改正セラル ○勅令第五十六號ヲ以テ官制中改正セラル ○文部省令第十一號ヲ以テ大學規程ヲ定メラル

四月 專攻科規程ヲ設ケ研究科規程ヲ廢止ス ○副手規程ヲ改正ス

五月 勅令第二百二十八號ヲ以テ臨時建築事務ノ爲技師技手ノ定員ヲ增加セラレ本學ニ技師一人増員セラル

七月 勅令第三百四十二號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教及助手ノ定員ヲ增加セラル ○勅令第三百四十三號ヲ以テ工學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ改正セラル ○從來毎年此月舉行ノ卒業證書授與式ヲ廢止ス隨テ優等卒業生ニ恩賜品授與ノコトモ廢セラル

九月 本學通則、醫學部規程及工學部規程ヲ改正ス ○講習會規程ヲ定メ講演會規則ヲ廢止ス ○專攻科規程ヲ改正ス ○工學部聽講生ノ聽講科目出願及聽講料ニ關スル件ヲ定ム

大正九年

四月 皇太子殿下本學ニ行啓在ラセラレ工學部ニ於テ標本古文書等ヲ台覽ニ供ヘ次ニ列品室實驗室御巡覽在ラセラル

五月 建築委員會規程ヲ定ム

七月 勅令第二百號ヲ以テ學位令ヲ制定セラレ舊學位令及博士會規則ヲ廢止セラル

八月 法律第二十六號ヲ以テ帝國大學特別會計法中改正セラル ○勅令第二百九十三號ヲ以テ

○沿革略

文部部内臨時職員設置制ヲ定メラレ臨時建築ノ事務ニ從事セシムル爲文部省及帝國大學ニ技師
技手増員セラル ○勅令第三百四十號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教事務官助手及書記ノ
定員ヲ増加セラル ○勅令第三百四十一號ヲ以テ工學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ改正セ
ラレ農學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ定メラル ○文部省令第二十二號ヲ以テ農學部ニ農
學科ヲ置キ大正十年四月ヨリ授業開始ノ旨公布セラル

九月 農學部事務ヲ本部内ニ開始ス ○建築及修繕工事施行手續ヲ定ム

十月 文部省令第二十八號ヲ以テ工學部ニ造船學科ヲ置キ大正十年四月ヨリ授業開始ノ旨公布
セラル ○醫學部ニ黃疸出血性スピロヘータ病血清製造室ヲ置キ第一內科學教室ノ附屬トス

大正十年

一月 醫學部規程中改正ス

三月 法律第十一號ヲ以テ大學特別會計法中改正セラル ○農學部本館成リ本部内ノ同學部事
務所ヲ之ニ移ス

四月 勅令第二百十號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教助手及書記ノ定員ヲ増加セラレ農學
部ニ附屬農場及農場長ヲ置カル ○勅令第二百二十一號ヲ以テ工學部及農學部ニ於ケル講座ノ數

ヲ増加セラル ○九州帝國大學學位規程ヲ定ム ○醫學部附屬醫院防疫委員規程ヲ設ク

八月 血液反應試驗室及黃疸出血性スピロヘータ病血清製造室ヲ醫學部附屬教室ヨリ同附屬醫
院ニ移ス

大正十一年

二月 文部省令第八號ヲ以テ農學部ニ農藝化學科及林學科ヲ置カレ四月ヨリ授業開始ノ旨公布
セラル ○本學通則、醫學部、工學部、農學部、專攻科及委託學生規程中改正ス ○印刷物取
扱手續ヲ定ム

三月 皇后陛下本學ニ 行啓アラセラレ醫學部ニ於テ特別列品室婦人科學產科學教室病室及小
兒科學教室病室等御巡覽終テ工學部へ 台臨各教室列品室實驗室及農學部列品室等ヲ御巡覽アラ
セラル ○法律第八號ヲ以テ大學特別會計法中改正セラル

五月 勅令第二百九十號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教助手書記藥劑手及看護長ノ定員ヲ
増加セラレ附屬圖書館ニ圖書館長及司書ヲ置キ農學部附屬演習林ニ演習林長ヲ置カル ○勅令
第二百九十一號ヲ以テ醫學部、工學部、農學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ増加セラル

十一月 醫學部及專攻科規程中改正ス

○沿革略

十二月 工學部規程中改正ス

大正十二年

一月 勅令第十四號ヲ以テ醫學部ニ於ケル講座ノ數ヲ改正セラル

三月 農學部規程中改正ス

四月 文部省告示第二百六十三號ヲ以テ本學内ニ第八臨時教員養成所ヲ置カル

五月 勅令第二百二十七號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教授助手書記及看護長ノ定員ヲ増加

セラレ專任學生監ヲ廢シ教授又ハ助教授中ヨリ補職トナル ○勅令第二百三十二號ヲ以テ農學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ増加セラル

久邇宮邦彥王殿下同妃倪子殿下良子女王及信子女王兩殿下本學ニ 台臨アラセラレ工學部ニ於

テ工學部列品室及農學部陳列品等御巡覽終テ醫學部ニ於テ附屬醫院婦人科學產科學及小兒科學病室及陳列品御巡覽アラセラル

八月 專攻科規程中改正ス

十二月 建築委員會規程中改正シ同工事施行手續ハ廢止ス

大正十三年

四月 農學部規程中改正ス

五月 北白川宮大妃殿下本學ニ 台臨アラセラレ農學部ニ於テ工農兩學部陳列品室御巡覽終テ

醫學部ニ於テ附屬醫院小兒科學病室及醫學部陳列品御巡覽アラセラル

七月 勅令第五百五十八號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教授助手ノ定員ヲ増加セラル ○勅令

第六百六十二號ヲ以テ醫學部ニ於ケル講座ノ名稱ヲ改メ其ノ數ヲ増加セラル ○法律第九號ヲ以テ大學特別會計法中改正セラル

九月 勅令第二百二十號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教授書記ノ定員ヲ増加セラル ○勅令

第二百二十四號ヲ以テ大正八年勅令第十三號中改正セラレ本學ニ法文學部ヲ置カル ○勅令第二百二十五號ヲ以テ法文學部ニ於ケル講座ノ名稱及其ノ數ヲ定メラル ○法文學部ノ事務ヲ農學部内ニ開始ス

十月 工學部規程中改正ス

十一月 勅令第二百六十四號ヲ以テ文部部内臨時職員設置制中改正セラル

十二月 學位規程及醫學部規程中改正ス

大正十四年

○沿革略

- 一月 通則、工學部及農學部規程中改正シ法文學部規程ヲ制定ス
 - 二月 農學部規程中改正ス
 - 秩父宮雍仁親王殿下本學ニ 台臨農學部ニ於テ土壤及肥料等ノ標本ヲ 台覽アラセラル
 - 三月 法律第十七號ヲ以テ大學特別會計法中改正セラル ○通則中改正ス ○法文學部本館成リ農學部内ノ同學部事務所ヲ之ニ移ス
 - 四月 勅令第七十六號ヲ以テ官制中改正セラレ助教助手書記ノ定員ヲ減少セラル
 - 五月 勅令第九十五號ヲ以テ官制中改正セラレ司書官ヲ置キ教授助教書記及司書ノ定員ヲ增加セラル ○勅令第九十六號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ法文學部ノ講座増設セラル ○勅令第二百三號ヲ以テ文部部内臨時職員設置制中改正セラル
 - 七月 附屬圖書館規則同圖書閱覽檢索ニ關スル規程及同商議委員會規程ヲ制定ス
 - 九月 醫學部構内ニアリシ大學本部事務所ヲ法文學部構内ニ移轉ス
- 大正十五年
- 一月 法文學部規程中改正ス
 - 三月 總長工學博士眞野文二願ニ依リ本官ヲ免セラレ朝鮮總督府勸業模範場技師兼本學教授農

學博士大工原銀太郎總長ニ任セラル ○農學部規程中改正ス

- 五月 勅令第一百十八號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教助手及司書ノ定員ヲ増加セラル ○勅令第二百二十一號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ法文學部ノ講座増設セラル

昭和二年

- 一月 工學部規程ヲ改正ス
- 三月 通則及法文學部規程中改正ス
- 十月 勅令第三百二號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教助手書記ノ定員ヲ増加シ新ニ書記官及技手ヲ置カル ○勅令第三百七號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ法文學部ノ講座増設セラル
- 十二月 大學處務規程中改正シ學生監室ヲ廢シ學生課ヲ置ク ○勅令第三百六十三號ヲ以テ文部部内臨時職員設置制中改正セラル

昭和三年

- 一月 勅令第七號ヲ以テ大學令中改正セラル
- 三月 農學部規程中改正ス ○大正八年以降廢止セラレタル卒業證書授與式ヲ本年ヨリ學士試

○沿革略

合格證書授與式トシテ舉行ス ○大學本部事務所ヲ工學部本館前建物ニ移轉ス
 四月 津屋崎臨海實驗所ヲ廢シ熊本縣天草郡富岡町ニ臨海實驗所ヲ置ク
 五月 本學宿直規程中改正ス ○執務時間外ニ於ケル非常通知順序中改正ス
 十月 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル ○勅令第二百五十二號ヲ以テ官制中改正セラレ書記官及學生監ヲ廢シ新ニ學生主事及學生主事補ヲ置カル
 十二月 勅令第二百八十二號ヲ以テ文部部内臨時職員設置制中改正セラル

昭和四年

三月 本學通則中改正ス
 六月 文部省令第三十一號ヲ以テ大學規程中改正セラル ○勅令第二百十八號ヲ以テ文部部内臨時職員設置制中改正セラル
 九月 總長農學博士大工原銀太郎願ニ依リ本官ヲ免セラレ教授醫學博士後藤七郎總長事務取扱ヲ命セラル
 十月 總長事務取扱醫學博士後藤七郎總長事務取扱ヲ免セラレ京城帝國大學總長松浦鎮次郎本學總長ニ任セラル ○本學學位規程中改正ス

昭和五年

十二月 本學處務規程中改正ス ○勅令第三百五十五號ヲ以テ本學官制中改正セラレ教授助教授助手書記ノ定員ヲ增加セラル ○勅令第三百六十一號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ醫學部及工學部ニ各一講座増設セラル
 三月 法文學部規程中改正ス
 六月 醫學部附屬醫院中央レントゲン線室ヲ廢止ス
 七月 醫學部規程中改正ス
 十二月 勅令第二百四十一號ヲ以テ本學官制中改正セラレ助教授及書記ノ定員ヲ增加セラル
 ○總長松浦鎮次郎貴族院令第一條第四號ニ依リ貴族院議員ニ任セラル

昭和六年

五月 附屬圖書館規則中改正ス
 七月 勅令第九十四號ヲ以テ本學官制中改正セラレ助教授及助手ノ定員ヲ增加セラル
 八月 看護員養成科規則中改正ス
 十月 勅令第二百六十六號ヲ以テ本學ニ溫泉治療學研究所ヲ附置セラル

○沿革略

十一月 天皇陛下大演習御統監ノ爲熊本縣下へ行幸ノ際本學天草臨海實驗所へ侍從御差遣アラセラル

昭和七年

二月 本學通則中改正ス
八月 本學通則中改正ス
九月 勅令第二百八十二號ヲ以テ文部部内臨時職員設置制中改正セララル
十月 文部省訓令第二十號ヲ以テ文官普通分限委員會ヲ置カル
十一月 溫泉治療學研究所研究生規程ヲ制定ス
十二月 勅令第三百九十號ヲ以テ本學官制中改正セラレ助教助手書記藥劑手看護長ノ定員ヲ減少セララル

昭和八年

一月 工學部規程中改正ス
三月 文部省告示第七十七號ヲ以テ本學内第八臨時教員養成所ヲ廢止セララル
五月 勅令第三百三十號ヲ以テ本學官制中改正セラレ教授助教助手ノ定員ヲ増加セララル

○勅令第三百三十二號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ工學部ニ一講座増設セララル
七月 本學通則中改正ス(本學記念日ハ五月十一日トナル)

昭和九年

三月 工學部規程中改正ス
四月 本學通則中改正ス
七月 勅令第二百十六號ヲ以テ本學官制中改正セラレ助手ノ定員ヲ増加セララル

昭和十年

三月 工學部規程中改正ス ○農學部規程中改正ス

昭和十一年

三月 勅令第三十七號ヲ以テ醫學部ニ於ケル講座ノ名稱ヲ改メラル
七月 總長松浦鎮次郎願ニ依リ本官ヲ免セラレ長崎醫科大學長醫學博士高山正雄總長ニ任セララル
十月 田川郡彦山村ニ生物學研究所ヲ設置セララル
十一月 總長醫學博士高山正雄願ニ依リ本官ヲ免セラレ本學教授工學博士荒川文六總長ニ任セララル

沿革略

昭和十二年

- 二月 本學通則中改正ス
- 三月 本學通則中改正ス
- 四月 醫學部規程中改正ス ○農學部規程中改正ス
- 十月 學生診療所規程ヲ制定ス
- 十二月 勅令第七百三十八號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教助手ノ定員ヲ增加セラレ
- 勅令第七百三十九號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ工學部及農學部ニ各一講座増設セラレ

昭和十三年

- 二月 工學部規程中改正ス
- 四月 勅令第二百九十八號ヲ以テ官制中改正セラレ教授助教助手書記ノ定員ヲ增加セラレ
- 勅令第二百九十九號ヲ以テ大正八年勅令第十七號中改正セラレ工學部ニ二講座増設セラレ

○大學ニ關スル法令

大學令 (大正七年十二月五日 勅令第三百八十八號)

(昭和三年一月 勅令第七號ヲ以テ改正)

- 第一條 大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ教授シ並其ノ濫奧ヲ攻究スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶及國家思想ノ涵養ニ留意スヘキモノトス
- 第二條 大學ニハ數個ノ學部ヲ置クヲ常例トス但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一個ノ學部ヲ置クモノヲ以テ一大學ト爲スコトヲ得
- 學部ハ法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學ノ各部トス
- 特別ノ必要アル場合ニ於テ實質及規模一學部ヲ構成スルニ適スルトキハ前項ノ學部ヲ分合シテ學部ヲ設クルコトヲ得
- 第三條 學部ニハ研究科ヲ置クヘシ
- 數個ノ學部ヲ置キタル大學ニ於テハ研究科間ノ聯絡協調ヲ期スル爲之ヲ綜合シテ大學院ヲ設クルコトヲ得

○大學ニ關スル法令 大學令

第四條 大學ハ帝國大學其ノ他官立ノモノノ外本令ノ規程ニ依リ公立又ハ私立トナスコトヲ得

第五條 公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道、府縣及市ニ限り之ヲ設立スルコトヲ得

第六條 私立大學ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 前條ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ大學ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財産ヲ有スルコトヲ要ス

基本財産中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第八條 公立及私立ノ大學ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ學部ノ設置廢止亦同シ

前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第九條 學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者

又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認めラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 學部ニ三年以上在學シ一定ノ試験ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十一條 研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其他ノ者ニ在リテハ三年

以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認めタル者トス

第十二條 大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得

大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲スヘシ

第十三條 大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ

定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認めラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所

ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認めラレタル者トス

第十四條 大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條 大學豫科ノ生徒定數ハ毎年ノ豫科修了者ノ員數カ其ノ年當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過

セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條 大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍内ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○大學ニ關スル法令 大學令

第十七條 公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第十八條 私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條 公立及私立ノ大學ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第二十條 文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ内

第二十一條ノ規定ヲ適用セス

帝國大學令 (大正八年二月六日勅令第十二號)

第一條 帝國大學ハ數個ノ學部ヲ綜合シテ之ヲ構成ス

第二條 各帝國大學ニ置ク學部ノ種類ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 帝國大學ニ大學院ヲ置ク

第四條 帝國大學ニハ官制ノ定ムル所ニ依リ總長、學部長、教授、助教授其ノ他必要ナル職員ヲ置ク必要アル場合ニ於テハ帝國大學總長ハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第五條 帝國大學ニ評議會ヲ置キ各學部長及各學部ノ教授二人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

帝國大學總長ハ評議會ヲ召集シ其ノ議長トナル

第六條 教授ニシテ評議員タル者ハ各學部毎ニ教授ノ互選ニ依リ文部大臣之ヲ命ス

前項評議員ノ任期ハ三年トス

第七條 評議會ハ左ノ事項ヲ審議ス

- 一 學部ニ於ケル學科ノ設置及廢止
- 二 講座ノ設置及廢止ニ付諮詢シタル事項

○大學ニ關スル法令 帝國大學令

三 大學內部ノ制規

四 其ノ他文部大臣又ハ帝國大學總長ノ諮詢シタル事項

評議會ハ高等教育ニ關スル事項ニ付意見ヲ文部大臣ニ建議スルコトヲ得

第八條 學部ニ教授會ヲ置キ教授ヲ以テ之ヲ組織ス

學部長ハ教授會ヲ召集シ其ノ議長トナル

第九條 教授會ハ左ノ事項ヲ審議ス

一 學部ノ學科課程ニ關スル事項

二 學生ノ試験ニ關スル事項

三 其ノ他文部大臣又ハ帝國大學總長ノ諮詢シタル事項

第十條 學部長ハ必要アリト認ムルトキハ助教授又ハ囑託講師ヲ教授會ニ列席セシムルコトヲ得

第十一條 學部ニ講座ヲ置ク

講座ハ教授ヲシテ之ヲ擔任セシム但シ教授ヲ缺ク場合其ノ他特別ノ事情アル場合ニ於テハ助教授又

ハ囑託講師ヲシテ之ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十二條 講座ノ種類及其ノ數ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 帝國大學ニ功勞アリ又ハ學術上效績アル者ニハ勅旨ニ依リ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトアルヘシ

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(明治十九年勅令第三號ヲ以テ帝國大學令公布、同二十三年勅令第九三號、同年勅令第二六九號、同二十五年勅令第七五號、同二十六年勅令第八十二號ヲ以テ改正、大正八年勅令第十二號ヲ以テ全部改正)

帝國大學及其ノ學部ニ關スル勅令 (大正八年二月六日 勅令第十三號)

(大正八年五月勅令第二三五號同月勅令第二五五號同一年八月勅令第三九六號同二年一月勅令第四八九號同一年三月勅令第二四號同五年三月勅令第五二號同六年四月勅令第六八號同八年三月勅令第三三號ヲ以テ改正)

帝國大學及其ノ學部ハ左ノ如シ

東京帝國大學

法 學 部

醫 學 部

工 學 部

○大學ニ關スル法令 帝國大學及其ノ學部

文學部
 理學部
 農學部
 經濟學部
 京都帝國大學
 法學部
 醫學部
 工學部
 文學部
 理學部
 〇 經濟學部
 農學部
 東北帝國大學
 理學部

醫學部
 工學部
 〇 法文學部
 九州帝國大學
 醫學部
 工學部
 農學部
 〇 法文學部
 北海道帝國大學
 農學部
 醫學部
 工學部
 理學部
 大阪帝國大學

〇大學ニ關スル法令 帝國大學及其ノ學部

醫學部
理學部
工學部
附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ法科大學、醫科大學、工科大學、文科大学、理科大学、農科大学ハ各本令ノ法學部、醫學部、工學部、文學部、理學部、農學部トス

九州帝國大學農學部及北海道帝國大學醫學部ノ各學科開設ノ期日ハ文部大臣之ヲ定ム

明治三十年勅令第二百八號、同年勅令第二百九號、明治四十年勅令第二百三十六號、明治四十三年勅令第四百四十八號及大正七年勅令第四十三號ハ之ヲ廢止ス

大學特別會計法 (大正十年三月二十九日 法律第十一號)

大正十一年三月法律第八號同十二年三月法律第一八號同十三年七月法律第九號
同十四年三月法律第一七號ヲ以テ改正

第一條 帝國大學及其ノ他ノ官立大學ハ各之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、

資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ一切ノ歳出ニ充テシム

第二條 前條ノ政府支出金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ之ヲ繰入ルヘシ

第二條ノ二 帝國大學ノ資金及歳入歳出ハ帝國大學毎ニ區分シ之ヲ整理スヘシ

第三條 帝國大學及官立大學ノ資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動産及不動産並歳入残餘

ヨリ成ル但シ官立大學ニ在リテハ第七條ノ施行豫算ノ歳入残餘ニシテ資金ニ編入シタルモノハ官立

大學毎ニ區分シ之ヲ整理スヘシ

第四條 大學ノ歳出ニ充ツル爲必要アルトキハ其ノ資金ヲ支消スルコトヲ得但シ用途指定ニ係ル資金

ニ付テハ用途指定者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五條 政府ハ毎年帝國大學及官立大學ノ特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ

之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 (削除)

第七條 文部大臣ハ歳入歳出豫算決定ノ後各大學毎ニ歳入歳出ノ施行豫算ヲ調製シ當該大學ノ總長又

ハ學長ヲシテ之ヲ施行セシムヘシ

文部大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項以外ノ者ヲシテ歳入歳出豫算ノ一部ヲ施行セシムルコトヲ得

○大學ニ關スル法令 大學特別會計法

第八條 大學ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本又ハ實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第九條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十條 獎學ヲ目的トスル寄附金ハ之ヲ當該大學ニ公布シ總長又ハ學長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第十一條 委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ノ規定ニ依ル

第十二條 大學ニ屬スル收入ヲ以テ其ノ歳出ヲ支辨シ別ニ政府支出金ヲ要セサルニ至リタルトキハ當該大學ノ爲ニ特別會計ヲ設クルモノトス

第十三條 大學特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 官立大學ノ創設費ハ第一條ノ規定ニ拘ラス一般會計ノ所屬トス

第十五條 官立大學特別會計ノ設置及官立大學ノ創設ニ付一般會計及學校及圖書館特別會計ニ關涉シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス

大正八年法律第十二號ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際ニ於ケル各帝國大學ノ資金及大正十三年度各帝國大學特別會計ノ歳入殘餘ハ之ヲ帝國大學資金ニ編入スヘシ

本法施行ノ際ニ於ケル學校及圖書館資金ニシテ京都帝國大學及東北帝國大學ノ用ニ供スルモノハ之ヲ帝國大學資金ニ編入シ各之ヲ當該大學ノ資金トシテ區分整理スヘシ

大正十三年度各帝國大學特別會計歳入歳出豫算中翌年度ニ繰越ヲ要スルモノハ之ヲ帝國大學特別會計ニ繰越使用スヘシ

九州帝國大學官制 (明治四十四年三月三十一日 勅令第四十三號)

明治四十五年五月勅令第一二二號大正二年六月勅令第一八二號同三年八月勅令第一六九號同四年一月勅令第二二〇號
同五年九月勅令第一二二號同六年九月勅令第一四〇號同七年六月勅令第一三〇號同八年二月勅令第一六六號同九年七月勅令第一七五號
同十年七月勅令第一七五號同十一年七月勅令第一八二號同十二年七月勅令第一九四號同十三年四月勅令第一九八號
同十四年七月勅令第二〇二號同十五年七月勅令第二〇九號同十六年七月勅令第二一五號同十七年七月勅令第二二二號
同十八年七月勅令第二二八號同十九年七月勅令第二三五號同二十年七月勅令第二四二號同二十一年七月勅令第二四九號
同二十二年七月勅令第二五五號同二十三年七月勅令第二六二號同二十四年七月勅令第二六九號同二十五年七月勅令第二七五號
同二十六年七月勅令第二八二號同二十七年七月勅令第二八九號同二十八年七月勅令第二九五號同二十九年七月勅令第二九九號
同三十年七月勅令第三〇五號同三十一年七月勅令第三一二號同三十二年七月勅令第三一九號同三十三年七月勅令第三二五號
同三十四年七月勅令第三三二號同三十五年七月勅令第三三九號同三十六年七月勅令第三四五號同三十七年七月勅令第三五二號
同三十八年七月勅令第三五九號同三十九年七月勅令第三六六號同四十年七月勅令第三七三號同四十一年七月勅令第三八〇號
同四十二年七月勅令第三八七號同四十三年七月勅令第三九四號同四十四年七月勅令第四〇一號同四十五年七月勅令第四〇八號
同四十六年七月勅令第四一五號同四十七年七月勅令第四二二號同四十八年七月勅令第四二九號同四十九年七月勅令第四三五號
同五十年七月勅令第四四二號同五十一年七月勅令第四四九號同五十二年七月勅令第四五六號同五十三年七月勅令第四六三號
同五十四年七月勅令第四七〇號同五十五年七月勅令第四七七號同五十六年七月勅令第四八四號同五十七年七月勅令第四九一號
同五十八年七月勅令第四九八號同五十九年七月勅令第五〇五號同六十年七月勅令第五一二號同六十一年七月勅令第五一九號
同六十二年七月勅令第五二六號同六十三年七月勅令第五三三號同六十四年七月勅令第五四〇號同六十五年七月勅令第五四七號
同六十六年七月勅令第五五四號同六十七年七月勅令第五六一號同六十八年七月勅令第五六八號同六十九年七月勅令第五七五號
同七十年七月勅令第五八二號同七十一年七月勅令第五八九號同七十二年七月勅令第五九六號同七十三年七月勅令第六〇三號
同七十四年七月勅令第六一〇號同七十五年七月勅令第六一七號同七十六年七月勅令第六二四號同七十七年七月勅令第六三一號
同七十八年七月勅令第六四〇號同七十九年七月勅令第六四七號同八十年七月勅令第六五四號同八十一年七月勅令第六六一號
同八十二年七月勅令第六六八號同八十三年七月勅令第六七五號同八十四年七月勅令第六八二號同八十五年七月勅令第六八九號
同八十六年七月勅令第六九六號同八十七年七月勅令第七〇三號同八十八年七月勅令第七一〇號同八十九年七月勅令第七一七號
同九十年七月勅令第七二四號同九十一年七月勅令第七三一號同九十二年七月勅令第七三八號同九十三年七月勅令第七四五號
同九十四年七月勅令第七六二號同九十五年七月勅令第七六九號同九十六年七月勅令第七七六號同九十七年七月勅令第七八三號
同九十八年七月勅令第七九〇號同九十九年七月勅令第七九七號同百年七月勅令第八〇四號

第一條 九州帝國大學ニ左ノ職員ヲ置ク

總 長

教 授

助 教

○大學ニ關スル法令 九州帝國大學官制

事務官
 學生主事
 司書官
 助手
 書記
 學生主事補
 司書
 技手

- 第二條 總長ハ一人勅任トス文部大臣ノ監督ヲ承ケ九州帝國大學一般ノ事ヲ掌リ所屬職員ヲ統督ス
 總長ハ高等官ノ進退ニ關シテハ文部大臣ニ具狀シ判任官ニ關シテハ之ヲ專行ス
- 第二條ノ二 教授ハ專任百四十五人奏任又ハ勅任トス各學部ニ分屬シテ其ノ講座ヲ擔任シ學生ヲ教授シ其ノ研究ヲ指導ス
- 教授ニシテ學部長又ハ醫學部附屬醫院長ニ補セラレタル者ニハ講座ヲ擔任セシメサルコトヲ得
- 第二條ノ三 助教授ハ專任九十八人奏任トス各學部ニ分屬シ教授ヲ助ケテ授業及實驗ニ從事ス

- 講座ヲ擔任スル助教授ハ前項ノ定員外トス但シ講座ヲ分擔スル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 事務官ハ專任二人奏任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ分掌ス
- 第四條 學生主事ハ專任三人奏任トス總長ノ命ヲ承ケ學生ノ指導監督ヲ掌ル
- 第四條ノ二 司書官ハ專任一人奏任トス上官ノ命ヲ承ケ附屬圖書館ニ於ケル圖書記録及閱覽ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 第四條ノ三 助手ハ專任百八十六人判任トス各學部ニ分屬シ教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケテ學術ニ關スル職務ニ服ス
- 第五條 書記ハ專任三十七人判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス
- 第五條ノ二 學生主事補ハ專任三人判任トス上官ノ命ヲ承ケ學生主事ノ職務ヲ助ク
- 第五條ノ三 司書ハ專任五人判任トス上官ノ命ヲ承ケ附屬圖書館ニ於ケル圖書記録ノ整理、保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス
- 第五條ノ四 技手ハ專任二人判任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス
- 第六條 各學部ニ學部長一人ヲ置キ其ノ學部ニ屬スル教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
 學部長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ其ノ學部ノ事ヲ掌ル

○大學ニ關スル法令 九州帝國大學官制

第七條 醫學部ニ附屬醫院ヲ置ク

醫院ニ醫院長ヲ置キ醫學部ニ屬スル教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

醫院長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ醫院ノ事務ヲ掌理ス

第八條 醫院ニ藥局長ヲ置ク專任一人奏任トス

藥局長ハ醫院藥局ノ事務ヲ掌理ス

第九條 醫院ニ藥劑手ヲ置ク專任十人判任トス

藥劑手ハ藥局長ノ指揮ヲ承ケテ醫院藥局ニ關スル職務ニ服ス

第十條 醫院ニ看護長ヲ置ク專任十四人判任トス

看護長ハ上官ノ命ヲ承ケテ醫院ニ於ケル看護ニ關スル職務ニ服ス

第十一條 農學部ニ附屬農場及附屬演習林ヲ置ク

農場ニ農場長、演習林ニ演習林長ヲ置ク

農學部ニ屬スル教授又ハ助教ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

農場長及演習林長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ各其ノ事務ヲ掌理ス

第十二條 九州帝國大學ニ附屬圖書館ヲ置ク

圖書館ニ圖書館長ヲ置ク教授、助教又ハ司書官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
圖書館長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ圖書館ノ事務ヲ掌理ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

溫泉治療學研究所官制

(昭和六年十月三十一日勅令第二百六十六號)

第一條 九州帝國大學ニ溫泉治療學研究所ヲ附置ス

第二條 溫泉治療學研究所ハ溫泉治療學ニ關スル學理及應用ノ研究ヲ掌ル

第三條 溫泉治療學研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所 長

所 員

助 手

書 記

藥 劑 手

○大學ニ關スル法令 溫泉治療學研究所官制



齒科學、口腔外科學

一講座

放射線治療學

三八
一講座

工學部

土木工學

六講座

機械工學

六講座

電氣工學

五講座

應用化學

六講座

探礦學

三講座

冶金學

三講座

製造冶金學

一講座

數學及力學

二講座

物理學

二講座

化學

二講座

材料強弱學

一講座

應用地質學

一講座

建築學

一講座

地質學

一講座

造船學

五講座

航空學

四講座

農學部

農學

三講座

農藝化學

三講座

農業工學

一講座

動物學

二講座

養蠶學

一講座

植物學

一講座

園藝學

一講座

植物病理學

一講座

畜產學

二講座

經濟學、農政學

二講座

生物化學

一講座

農產製造學

一講座

林學

六講座

氣象學、統計學

一講座

法文學部

哲學、哲學史

三講座

倫理學

一講座

心理學

一講座

社會學

一講座

教育學

一講座

宗教學

一講座

美學、美術史

一講座

支那哲學史

一講座

印度哲學史

一講座

法理學

一講座

憲法

一講座

行政法

一講座

○大學ニ關スル法令 九州帝國大學各學部講座

三九

第七條 略

第八條 略

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

雇外國人ニ關スル勅令

(明治二十六年九月九日勅令 第九十六號)

(大正九年三月勅令第七四號、昭和四年四月勅令 第四五號ヲ以テ改正)

帝國大學、官立大學、高等師範學校及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長、官立大學長、高等師範學校長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

大 學 規 程

(大正八年三月二十九日 文部省令第十一號)

(大正八年一二月文部省令第三九號、昭和四年六月 文部省令第三一號ニテ改正)

第一條 公立又ハ私立ノ大學ノ設立ニ付認可ヲ受ケントストキハ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請ス

ヘシ

- 一 大學ノ名稱
 - 二 學部ノ種類及名稱
 - 三 大學院及大學豫科ノ設否
 - 四 學 則
 - 五 位置及校地
 - 六 校舍ノ圖面及建設ノ設計
 - 七 各學部及大學豫科在學者定數
 - 八 各學部專任教員數
 - 九 學部、學科又ハ大學豫科開設ノ期日
 - 十 經費及維持ノ方法
- 前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質及面積並ニ附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添付スヘシ

第一項各號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○大學ニ關スル法令 雇外國人ニ關スル勅令 大學規程

第二條 公立又ハ私立ノ大學ノ廢止ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及在學者ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ學部ノ廢止ニ付亦同シ

第三條 大學ハ其ノ目的及規模ニ應ジ教授上及研究上必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第四條 學部ノ入學ニ關シ高等學校高等科ヲ卒リタル者ト同等以上ノ學力アリト認ムヘキ者ハ當該大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第五條 高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有スル者ハ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

- 一 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者
- 二 文部大臣ニ於テ一般專門學校ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
- 三 文部大臣ニ於テ特種ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項第三號ニ該當スル者ノ進入シ得ヘキ大學ノ學部又ハ學科ニ關シテハ大學ニ於テ學則中ニ之ヲ定ムヘシ

第七條 大學ハ學則ニ於テ學部ニ入學スル資格ヲ有スル者ニ就キ入學ノ順位ヲ定ムルコトヲ得

第八條 同順位ニ在ル學部入學志願者ノ數收容シ得ヘキ人員ニ超過スル場合ニ於テ行フヘキ選抜ノ方法ニ關シテハ大學ニ於テ學則中ニ之ヲ定ムヘシ

第九條 大學令第十八條ノ規定ニ依リ教員ノ採用ニ付文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請

書ニ擔任學科目ヲ記載シ本人ノ履歷書及戶籍抄本ヲ添付スヘシ

第十條 大學ハ教育上必要ト認メタルトキハ在學者ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十一條 學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

- 一 學部及大學豫科ノ學科課程ニ關スル事項
- 二 研究科及大学院ニ關スル事項
- 三 學部ノ在學年限並ニ大學豫科ノ修業年限ニ關スル事項
- 四 學士ノ稱號ニ關スル事項
- 五 試驗並ニ課程終了ノ認定ニ關スル事項

○大學ニ關スル法令 大學規程

- 六 學年、學期及休業日ニ關スル事項
- 七 入學、退學及懲戒ニ關スル事項
- 八 授業料、入學料等ニ關スル事項

第十二條 大學ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

- 一 學則及教授時間配當表
- 二 職員ノ名簿及履歷書
- 三 在學者學籍簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類
- 四 試験ノ問題及成績表

在學者學籍簿ニハ在學者ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及試験合格ノ年月日、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第十三條 私立ノ大學ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○ 學 位

學 位 令 (大正九年七月五日勅令第二百號)

第一條 學位ハ博士トス

第二條 學位ハ大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ授與ス

第三條 博士ノ種類ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 學位ヲ授與セラルヘキ者ハ大學學部研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シ論文ヲ提出シテ學部教員會ノ審査ニ合格シタル者又ハ論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ學部教員會ニ於テ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條 學部教員會ハ前條ノ論文審査ニ付其ノ提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得

第六條 大學ニ於テ學位授與ノ認可ヲ申請スルトキハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添付スヘシ

第七條 學位ヲ授與セラレタル者ハ授與ノ日ヨリ六月内ニ其ノ提出ニ係ル論文ヲ印刷公表スヘシ但シ學位授與前既ニ印刷公表セラレタルモノナルトキ又ハ文部大臣ニ於テ其ノ印刷公表ヲ相當ナラスト認メタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

○學位 學位令

第八條 大學ハ論文ノ審査ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九條 學部教員會ニ於ケル論文審査ノ手續其ノ他學位ニ關スル規程ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ大學ニ於テ學位ニ關スル規程ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消スコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年勅令第三百四十四號學位令及博士會規則ハ之ヲ廢止ス但シ舊令ニ依リ授與シタル學位ハ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シタル者ニ對シテハ舊令ニ依リ學位ヲ授與ス

舊令ニ依ル學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ文部大臣其ノ學位ヲ褫奪ス

學位ニ關スル規程 (大正十年四月制定)

第一條 本學ニ於テ授與スヘキ學位ハ醫學博士、工學博士、農學博士、法學博士、文學博士及經濟學

博士ノ六種トス

第二條 本學大學院ニ於テ二年以上研究ニ從事シタル者ハ其ノ研究シタル事項ニ就キ論文ヲ總長ニ提出シテ學位ヲ請求スルコトヲ得

總長ハ前項ノ論文ヲ教授會ノ審査ニ付ス

第三條 前條ニ該當スル者ノ外學位ヲ請求セントスル者ハ自著ノ論文一編ニ履歷書ヲ添ヘ其ノ請求スル學位ノ種類ヲ指定シテ總長ニ提出スヘシ

前項論文ノ外參考トシテ他ノ論文ヲ附加シテ提出スルコトヲ得

總長ハ第一項ノ論文ヲ提出者ノ請求スル學位ノ種類ニ應シ相當學部教授會ノ審査ニ付ス論文ハ之ヲ還付セス

第四條 前條ニ依リ學位ヲ請求スル者ハ論文審査ノ手数料トシテ金百圓ヲ納付スヘシ但シ既納ノ手数料ハ本人ノ都合ニ依リ學位請求ヲ取消スコトアルモ之ヲ還付セス

第五條 學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スルノ行爲アリタルトキハ總長ハ當該學部教授會ノ議決ヲ經テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學位ノ授與ヲ取消シ學位記ヲ還付セシム

第六條 前條教授會ノ議決ニハ在職教授三分ノ二以上ノ出席アルコトヲ要シ且出席教授四分ノ三以上

○學位 學位ニ關スル規程

ノ同意アルコトヲ要ス但シ海外旅行中ノ教授ハ之ヲ算入セス
第七條 學位記ノ様式左ノ如シ

五〇

學位記	氏名
族籍位勳功爵	
右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ九州帝國大學何學部教授會 ノ審査ニ合格シタリ仍テ茲ニ何學博士ノ學位ヲ授ク	
年 月 日	九州帝國大學總長位勳功爵氏名
印	
割印番號	

學位請求論文審査手續

第一條 學位ニ關スル規程第二條又ハ第三條ニ依リ學位請求ノ論文ヲ教授會ノ審査ニ付セラレタルト
キハ當該學部長ハ教授會ヲ召集シ學位請求者ノ履歷及論文ノ概要ヲ報告ス

第二條 教授會ハ二名以上ノ調査委員ヲ選定シ豫メ論文ノ調査ヲ行ハシム
第三條 調査委員ハ論文提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得
第四條 調査委員ハ論文ノ要旨及調査ノ結果ヲ教授會ニ報告ス
第五條 教授會ハ調査委員ノ報告ニ基キ之ヲ審査ス
第六條 教授會ニ於テ審査ノ決定ヲ爲スニハ無記名投票ニ依リ出席教授三分ノ二以上ノ可票ヲ得タル
者ヲ合格者トス
第七條 前條ノ教授會ハ在職教授三分ノ二以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス但シ海外旅行
中ノ教授ハ之ヲ算入セス
第八條 教授會ニ於テ學位ヲ授與スヘキモノト議決シタルトキハ學部長ハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添
ヘ之ヲ總長ニ報告ス
學位ヲ授與スヘカラスト議決シタルトキ亦前項ニ同シ但シ審査ノ要旨ヲ添付スルヲ要セス

○職員

九州帝國大學職員

○學位 學位請求論文審査手續 ○職員 九州帝國大學職員

五一

總長
評議員

マスター、オブ、アーツ(コーネル大學)

工學博士工學士 荒川文六 福岡

工學部長教授工學博士工學士 永積純次郎 山口

農學部長教授農學士 滿田隆一 兵庫

教授工學博士工學士 君島武男 栃木

醫學部長教授醫學博士醫學士 赤岩八郎 徳島

教授醫學博士醫學士 藤原教悦郎 島根

教授理學博士理學士 西久光 石川

教授理學士林學士 土井藤平 福岡

教授農學博士農學士 中田覺五郎 栃木

教授醫學博士醫學士 箕田貢 靜岡

法文學部長教授法學士 河村又介 山口

教授文學博士文學士 佐久間鼎 東京

教授經濟學士 森耕二郎 滋賀

事務官

(兼)

豊田茂久 藏 京都

助教授法學士 久保田藤麿 三重

(醫學部附醫學院勤務) 荒井良一 山形

文學士 岡部龍玄 富山

法學士 前田稔 靖 福岡

學生主事

附屬圖書館長

教授文學博士文學士 佐野勝也 東京

司書官

竹林熊彦 福岡

助教授法學士 武藤智雄 熊本

技師

工學士農學士 島岡春三郎 群馬

○職員 九州帝國大學職員

建築委員會

會長
委員

總長 工學博士 荒川 文六 福岡

教授醫學博士 醫學士 石原 誠 東京

工學部長 教授工學博士 工學士 永積純次郎 山口

教授工學博士 工學士 小林俊次郎 兵庫

農學部長 教授農學士 滿田隆一 兵庫

醫學部長 教授醫學博士 醫學士 赤岩 八郎 德島

教授文學博士 文學士 長 壽吉 東京

教授工學博士 工學士 三瀬幸三郎 愛媛

教授理學士 林學士 土井藤平 福岡

教授農學博士 農學士 中田覺五郎 栃木

醫學部附屬醫院長 教授醫學博士 醫學士 箕田 貢 靜岡

法文學部長 教授法學士 河村 又介 山口

附屬圖書館商議委員會

委員長
委員

教授經濟學士 三田村 一郎 福岡

建築課長 工學士 農學士 島岡春三郎 群馬

會計課長 豐田茂久藏 京都

圖書館長 教授文學博士 文學士 佐野勝也 東京

教授工學博士 工學士 岡田陽一 東京

教授農學博士 農學士 奧田 讓 福岡

教授醫學博士 醫學士 下田光造 鳥取

教授醫學博士 醫學士 平光吾一 岐阜

教授理學博士 理學士 伊藤德之助 千葉

教授理學博士 理學士 江崎悌三 大阪

教授法學士 菊池 勇夫 東京

教授法學士 波多野 鼎 愛知

○職員 九州帝國大學職員

印刷所

監督

臨海實驗所

監督

商議員

生物學研究所

監督

電氣監督

瓦斯監督

暖房監督

給水排水監督

教授工學博士工學士 安藤一雄 香川

教授理學博士理學士 大島 廣石川

教授醫學博士醫學士 進藤篤一 山梨

教授理學博士理學士 額額理一郎 岐阜

教授理學博士理學士 江崎悌三 大阪

教授工學博士工學士 森 兵吾 宮城

教授工學博士工學士 織田經二 京都

教授工學博士工學士 山口修一 東京

教授工學博士工學士 安藏善之輔 東京

學 醫

醫學博士醫學士 勝木司馬之助 福岡

醫學博士醫學士 野村俊一郎 福岡

醫學博士醫學士 沖田喬平 島根

醫學博士醫學士 石田義夫 福岡

醫學博士醫學士 內山八郎 福岡

醫學士 島田端身 大阪

醫學士 本間富之助 山形

醫學士 有泉 信山梨

醫學士 松岡 壽 福岡

醫學士 中島方衛 佐賀

醫學博士醫學士 佐々木久之 廣島

醫學士 後藤隆範 大分

○職員 九州帝國大學職員

配屬將校

五八

陸軍歩兵大佐 湯瀬剛一 熊本
陸軍歩兵中佐 五十君正弘 福岡

書記

(兼務)
(兼)

中野葛二 新潟
田中鐵三 岐阜
長澤孝太郎 福岡
星出孝祐 山口
三原辰生 福岡
四宮述雄 福岡
島岡幾藏 奈良
手島角四郎 福岡
牧久 福岡
花房重次郎 福岡

(兼務)

(兼)

濱口野茂吉 長崎
法學士 乙藤寛一 福岡
法學士 福田秀美 福岡

(兼)

加藤勇 福岡
植木正徳 福岡

學生主事補

(兼)

濱口野茂吉 長崎
法學士 古賀克孝 福岡
法學士 乙藤寛一 福岡
文學士 小林登 廣島

司書

(兼)

助手 田中鐵三 岐阜
植村長三郎 香川
小原克巳 福岡

○職員 九州帝國大學職員

五九

技手

六〇

中江藤四郎 福岡

船越惣兵衛 福岡

篠田守 福岡

吉村治蒼 福岡

梅埜長平 福岡

工學士 金田三郎 靜岡

倉林五郎 東京

植木正徳 福岡

名譽教授

東京帝國大學名譽教授醫學博士醫學士 中山森彦 福岡

醫學博士醫學士 稻田龍吉 愛知

醫學博士醫學士 宮入慶之助 福岡

メンバー、オブ、インスティテュション、オブ、メカニカル、エンジニアース(ロンドン)

東京帝國大學名譽教授工學博士工學士 眞野文二 東京

醫學博士醫學士 後藤元之助 岐阜

醫學博士醫學士 三宅速徳 島

工學博士理學士 岩岡保作 長野

工學博士工學士 西川帙吉 福岡

工學博士工學士 高壯吉 福岡

醫學博士醫學士 高山正雄 東京

醫學博士醫學士 中山平次郎 福岡

工學博士工學士 末廣忠介 山口

醫學博士醫學士 石坂友太郎 富山

醫學博士醫學士 田原淳 大分

工學博士工學士 君島八郎 福岡

醫學博士醫學士 久保猪之吉 福岡

○職員 九州帝國大學職員

六一

醫學博士醫學士 武谷 廣福岡
 工學博士工學士 野中 季雄 東京
 醫學博士醫學士 小川 政修 石川
 法學士 松浦 鎮次郎 愛媛
 工學博士工學士 小野 鑑 正 東京
 工學博士工學士 西田 精島 根

醫學部職員 (同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ依ル)

學部長

教授醫學博士醫學士 赤岩 八郎 德島

解剖學教室

解剖學第一講座擔任 教授醫學博士醫學士 進藤 篤一 山梨
 解剖學第二講座擔任 教授醫學博士醫學士 石澤 政男 栃木
 解剖學第三講座擔任 教授醫學博士醫學士 平光 吾一 岐阜

助教授醫學博士醫學士 森 優大 分

講師醫學士 和佐野 武雄 福岡

助手 新妻 錦 千葉

助手醫學士 田中 克己 長野

助手醫學士 宮下 幸一 栃木

助手醫學士 森田 輝雄 福岡

助手醫學士 中野 克己 福岡

病理學教室

病理學第一講座擔任

教授醫學博士醫學士 大野 章三 福岡

病理學第二講座擔任

教授醫學博士醫學士 小野 興作 山口

講師醫學士 横山 通幹 宮崎

講師醫學博士醫學士 橋本 美智雄 熊本

講師醫學士 今井 環 大分

助手醫學士 宮崎 忠利 福岡

○職員 醫學部職員

藥理學教室

藥理學講座擔任

教授醫學博士醫學士 福田得志 熊本

助教授醫學博士醫學士 貫文三郎 宮崎

助手 巖福岡

助手醫學士 田中 潔 長野

生理學教室

生理學第一講座擔任

教授醫學博士醫學士 石原 誠 福岡

生理學第二講座擔任

教授醫學博士醫學士 板垣政參 福岡

(在外研究中)

助教授醫學博士醫學士 瀨尾愛三郎 靜岡

講師醫學士 棚橋陽吉 京都

醫化學教室

醫化學講座擔任

教授醫學博士醫學士 兒玉桂三 滋賀

助教授醫學博士醫學士 伊藤良二 廣島

講師醫學士 上田 彰 德島

助手醫學士 永井諄爾 愛媛

助手醫學士 茅嶋新吉 福岡

助手醫學士 大保不二夫 鹿児島

內科學教室

內科學第三講座擔任

教授醫學博士醫學士 小野寺直助 福岡

內科學第一講座分擔

教授醫學博士醫學士 金子廉次郎 新潟

內科學第二講座擔任

教授醫學博士醫學士 楠 五郎雄 福岡

助教授醫學博士醫學士 澤田藤一郎 福岡

○職員 醫學部職員

內科學第一講座分擔

六六

- 助教授醫學博士醫學士 操 坦道 鹿兒島
- 助教授醫學博士醫學士 吉住 好夫 福岡
- 講師醫學博士醫學士 勝木司馬之助 福岡
- 講師醫學博士醫學士 小宮 昇次 新潟
- 講師醫學博士醫學士 野村俊一郎 福岡
- 講師醫學士 矢野 良一 德島
- 講師醫學博士醫學士 井出 誠司 靜岡
- 講師醫學博士醫學士 山岡 憲二 福岡
- 講師醫學士 馬場 駿二 島根
- 助手醫學博士醫學士 勝木司馬之助 福岡
- 助手醫學士 矢野 良一 德島
- 助手醫學博士醫學士 野村俊一郎 福岡
- 助手醫學士 馬場 駿二 島根
- 助手醫學士 貝田 勝美 長崎

(在外研究中)

婦人科學、產科學教室

- 助手醫學博士醫學士 齋藤 忠夫 福岡
- 助手醫學士 石神 脩 靜岡
- 助手醫學博士醫學士 沖田 喬平 島根

婦人科學、產科學講座擔任

- 教授醫學博士醫學士 馬屋原 茂 山口
- 講師醫學博士醫學士 清水直太郎 佐賀
- 助手醫學博士醫學士 木原 行男 熊本
- 助手醫學博士醫學士 加藤 勤也 福岡
- 助手醫學博士醫學士 林 勝熊 熊本

小兒科學教室

小兒科學講座擔任

- 教授醫學博士醫學士 箕田 貢 靜岡
- 助教授醫學博士醫學士 遠城寺 宗德 大分
- 助手醫學士 陳 維一郎 福岡

○職員 醫學部職員

六七

外科學教室

外科學第二講座擔任

外科學第一講座擔任

六八

助手醫學士 永山 德郎 鹿見島
助手醫學士 西野 卓 大分

教授醫學博士醫學士 後藤 七郎 福岡

教授醫學博士醫學士 赤岩 八郎 德島

助教授醫學博士醫學士 友田 正信 奈良

講師醫學博士醫學士 今永 一大分

講師醫學博士醫學士 永松 之幹 福岡

講師醫學博士醫學士 石田 義夫 福岡

講師醫學博士醫學士 內山 八郎 福岡

助手醫學博士醫學士 永松 之幹 福岡

助手醫學博士醫學士 佐田 正人 山口

助手醫學博士醫學士 石田 義夫 福岡

助手醫學博士醫學士 內山 八郎 福岡

(應召中)

整形外科學教室

整形外科學講座擔任

助手醫學博士醫學士 永富 勳 大分

教授醫學博士醫學士 神中 正一 和歌山

助教授醫學博士醫學士 天兒 民和 兵庫

講師醫學博士醫學士 市村 平八郎 兵庫

助手醫學士 井上 暹 福岡

助手醫學士 島田 端身 大阪

助手醫學博士醫學士 市村 平八郎 兵庫

皮膚科學教室

皮膚科學講座擔任

(應召中)

教授醫學博士醫學士 皆見 省吾 石川

助手醫學士 荒川 忠良 廣島

助手醫學士 今井 幸介 愛媛

○職員 醫學部職員

六九

泌尿器科學教室

泌尿器科學講座擔任

教授醫學博士醫學士 高木 繁 福岡

助教授醫學士 本間富之助 山形

講師醫學博士醫學士 富川 梁 次 福岡

助手醫學博士醫學士 富川 梁 次 福岡

助手醫學士 堅山 磐 廣島

精神病學教室

精神病學講座擔任

教授醫學博士醫學士 下田 光 造 鳥取

助教授醫學博士醫學士 米山 達 雄 神奈川

(休職中)

講師醫學士 山下 實 六 長崎

(應召中)

助手醫學士 山本 莊 一 郎 神奈川

助手醫學士 武谷 止 孝 福岡

衛生學教室

衛生學講座擔任

教授醫學博士醫學士 大平 得 三 山形

細菌學教室

細菌學講座擔任

助教授醫學博士醫學士 大坪 潔 己 東京

助手醫學士 岡部 浩 洋 福岡

助手醫學士 猿田 南海 雄 高知

教授醫學博士醫學士 戶田 忠 雄 京都

講師醫學博士醫學士 占部 薰 廣島

助手醫學士 吉田 長 之 東京

助手醫學士 石田 守 一 福岡

助手醫學士 中川 洋 福岡

眼科學教室

眼科學講座擔任

教授醫學博士醫學士 庄 司 義 治 神奈川

講師醫學士 松岡 壽 福岡

助手醫學士 鬼木 棟 隆 福岡

助手醫學士 生井 浩 福岡

○職員 醫學部職員

法醫學教室

法醫學講座擔任

助手醫學士 山名三世滿福岡

教授醫學博士醫學士 藤原教悅郎 島根

講師醫學士 田代歡一 熊本

助手醫學士 齋藤精一 德島

助手醫學士 則松正二 福岡

耳鼻喉科學教室

耳鼻喉科學講座擔任

教授醫學博士醫學士 笹木 實福井

講師醫學博士醫學士 飯田武雄 大分

講師醫學博士醫學士 河田政一 東京

講師醫學博士醫學士 佐々木久之 廣島

助手醫學博士醫學士 佐々木久之 廣島

助手醫學士 藤代善次郎 千葉

助手醫學博士醫學士 河田政一 東京

齒科學、口腔外科學教室

齒科學、口腔外科學講座擔任

教授醫學博士醫學士 問田亮次 福岡

助教授醫學士 加來素六 福岡

講師醫學博士醫學士 織田健太郎 高知

助手醫學博士醫學士 織田健太郎 高知

助手 中島方衛 佐賀

放射線治療學教室

放射線治療學講座擔任

教授醫學博士醫學士 中島良貞 長崎

助教授醫學博士醫學士 入江英雄 福岡

講師醫學博士醫學士 井上教雄 大分

助手醫學博士醫學士 井上教雄 大分

助手醫學士 毛利薰 佐賀

助手醫學士 後藤隆範 大分

(應召中)

○職員 醫學部職員

羅旬語
溫泉治療學

事務室

講師文學士 小林榮三郎 福岡
講師醫學博士醫學士 間野山松 京都

七四

附屬醫院

醫院長

(生ノ松原分院勤務)

(生ノ松原分院勤務)

事務室

教授醫學博士醫學士 箕田 貢 靜岡

助教授醫學博士醫學士 飯田 豊三 東京

助教授醫學博士醫學士 渡邊 信吉 群馬

事務官 荒井良一 山形

書記 稻永可也 福岡

(生ノ松原分院勤務)

藥局長 藥局

書記 榮 福基 鹿兒島
書記 吉浦七之助 福岡
書記 太田喜四郎 福岡
書記 松岡愛藏 福岡
書記 渡邊外海 福岡
書記 山内勘次郎 福岡
書記 每熊文生 長崎



○職員 附屬醫院職員

藥學士 松村久吉 福岡
藥劑手 庄野養助 福岡
藥劑手 山中六郎 佐賀
藥劑手 鹿川 亘長 野
藥劑手 合屋 周 福岡
藥劑手 山田 武 福岡

七五

藥劑手 伊藤 茂俊 福岡
 藥劑手 西原 廣 福岡
 藥劑手 高阪義一郎 福岡
 藥劑手 丸井 桓三 愛知

病室

看護長 勝本治三郎 山口
 看護長 佐々木 マサル 福岡
 看護長 江藤 サク 福岡
 看護長 成富 ヨネ 佐賀
 看護長 御田 シゲノ 福岡
 看護長 林 マツノ 福岡
 看護長 宇代 キミエ 福岡
 看護長 永野 フジ子 福岡
 看護長 末次 イヨノ 福岡

看護長 松江 イチ 佐賀

工學部職員 (同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ依ル)

學部長

教授工學博士工學士 永積純次郎 山口

土木工學教室

土木工學第五講座擔任

教授工學博士工學士 林 桂一 新潟

土木工學第二講座擔任

教授工學博士工學士 三瀬幸三郎 愛媛

土木工學第一講座擔任

教授工學博士工學士 稻田 隆長 崎

土木工學第三講座擔任

教授工學博士工學士 安藏善之輔 東京

土木工學(在外研究中)

助教授工學博士工學士 久野重一郎 静岡

土木工學第四講座擔任

助教授工學博士工學士 田中 吉郎 熊本

土木工學第六講座分擔

助教授工學士 篠原 謹爾 福岡

土木工學

助教授工學士 水野 高明 福岡

助手 森 善彦 福岡

○職員 工學部職員

機械工學教室

機械工學第四講座擔任
機械工學第五講座擔任
機械工學第一講座擔任
材料強弱學講座分擔
機械工學第六講座擔任
機械工學第二講座擔任
機械工學第三講座擔任
機械工學
機關車

助手 谷脇 鐵男 宮崎
助手 草野 米一 長崎

七八

教授工學博士工學士 山口 修一 東京
教授工學博士工學士 小林 俊次郎 兵庫
教授工學博士工學士 生源 寺 順 東京
教授工學士 坂井 甚吉 三重
教授工學博士工學士 岡本 勇象 宮崎
教授工學博士工學士 和栗 明 岡山
助教授工學士 山縣 清山 山口
助教授工學博士工學士 葛西 崇二 福岡
助教授工學士 下山 美徳 兵庫
講師工學士 梶島 太郎 東京
助手 江島 水城 福岡

電氣工學教室

電氣工學第四講座擔任
電氣工學第三講座擔任
電氣工學第五講座擔任
電氣工學第一講座擔任
電氣工學第二講座擔任
電氣工學
電氣工學
電氣工學
電氣工學
○職員 工學部職員

助手 末岡 仕 福岡
助手 田中 耕策 佐賀
助手 藤 榮三郎 福岡
助手工學士 芳村 多一郎 福岡

教授工學博士工學士 森 兵吾 宮城
教授工學博士工學士 宮崎 鐵太郎 三重
教授工學士 難波 幸一 岡山
教授工學博士工學士 清山 久吉 鳥取
教授工學博士工學士 原田 恭介 福岡
助教授工學士 熊澤 尙文 東京
助教授工學士 野田 健三郎 和歌山
助教授工學士 平山 晃 福岡
助教授工學士 保刈 紫朗 長野

七九

應用化學教室

應用化學第五講座擔任
 應用化學第四講座擔任
 應用化學第三講座擔任
 應用化學第六講座擔任
 應用化學第一講座擔任
 應用化學第二講座擔任
 應用化學

助手 高宮甚次郎 福岡
 助手 德淵一雄 熊本
 助手 川口道久 福岡
 助手 眞武京介 福岡
 助手工學士 福島台六 鹿兒島
 助手 立本二郎 鹿兒島
 助手 清水光 福岡

教授工學博士工學士 安藤一雄 香川
 教授工學博士工學士 寺野寬二 福岡
 教授工學博士工學士 織田經二 京都
 教授工學博士工學士 君島武男 栃木
 教授工學士 張玄彦 佐賀
 教授工學博士工學士 栗山捨三 大阪
 教授工學博士工學士 奥野俊郎 長崎

應用化學
 應用化學
 應用化學

助教授工學士 和田正雄 福岡
 助教授工學博士工學士 向井參之充 佐賀
 助教授工學士 加藤常太郎 大阪
 講師工學士 今田房雄 福岡
 助手 岩永豐次郎 福岡
 助手 高崎德太郎 東京
 助手 前田碧 福岡

採鑛學教室

採鑛學第一講座擔任
 採鑛學第二講座擔任
 採鑛學第三講座擔任
 應用地質學講座分擔
 採鑛學
 採鑛學
 採鑛學
 ○職員 工學部職員

教授工學博士工學士 永積純次郎 山口
 教授工學博士工學士 岡田陽一 東京
 教授工學士 小田二三男 福岡
 教授理學博士理學士 渡邊久吉 山形
 助教授工學士 山田穰 愛媛
 助教授工學士 塩谷勳 福岡
 助教授工學士 大隅芳雄 廣島

鑛業法規

冶金學教室

冶金學第二講座擔任
 冶金學第一講座擔任
 製造冶金學講座擔任
 冶金學第三講座擔任
 冶金學
 特殊金屬材料
 驗熱實習及耐火材料
 冶金學

講師法學士 堀 義臣 山形
 助手工學士 鈴木 俊夫 和歌山
 助手理學士 瀧本 清山 山口

教授工學博士工學士 井上 克己 東京
 教授工學博士工學士 今井 弘 東京
 教授工學博士工學士 谷村 熙三 三重
 教授工學博士工學士 小川 芳樹 京都
 助教授工學士 伊藤 尙 東京
 講師工學士 佐々木 新太郎 京都
 講師理學博士理學士 田所 芳秋 高知
 講師工學士 太郎良 績大分
 助手 堺 宗佐 福岡
 助手 小島 周衛 新潟

數學、物理學教室

數學及力學第一講座分擔
 物理學第一講座擔任
 物理學第二講座擔任
 數學及力學第一講座分擔
 物理學
 數學及力學第二講座擔任
 數學、物理學

助手工學士 賴 雅 修 臺灣

教授理學博士理學士 桑 木 或雄 福岡
 教授理學博士理學士 西 久光 石川
 教授理學博士理學士 伊藤 德之助 千葉
 助教授理學士 水野 善右衛門 愛知
 助教授理學士 福原 滿洲雄 東京
 助教授理學博士理學士 二神 哲五郎 東京
 助手 前山 菊雄 佐賀
 助手 會田 軍太夫 東京
 助手理學士 川邊 季雄 福岡
 助手 田島 鐵男 福岡

化學教室

化學第一講座擔任
 化學第二講座擔任

教授理學博士工學士 三宅 三郎 岡山
 助教授工學博士工學士 宮川 一郎 東京

○職員 工學部職員

化學

助教授理學博士 小川英次郎 愛媛

八四

材料強弱學講座分擔

講師理學士 杉藤 臣 一 愛知
助手理學士 柴 晴雄 東京

材料強弱學講座分擔

助教授工學士 石橋 正 福岡
助手 大穗 一 福岡
助手 岩崎良助 福岡

造船學教室

造船學第四講座分擔

教授工學博士 渡邊 惠弘 福岡

造船學第一講座分擔

教授工學博士 小川 貞英 東京

造船學第二講座分擔

教授工學士 河東卓四郎 愛媛

造船學第五講座分擔

助教授工學士 長谷川 清 一 京都

造船學第三講座分擔

助教授工學士 上野 敬三 和歌山

造船學

講師農學士 石龜 敏造 福岡

造兵學大意

商船艦裝、造船設計及製圖

講師工學士 杉岡 師男 廣島
講師工學士 榊原 鐵止 長崎

航空學教室

航空學第一講座分擔

教授工學士 橋本 賢輔 東京

航空學第二講座分擔

教授工學博士 榎原 豐太郎 和歌山

航空學(在外研究中)

助教授工學士 佐藤 博 佐賀

航空學

助教授工學士 近藤 一夫 京都

航空機工作法

講師 小屋 壽 大分

航空學

講師工學士 橫尼 孝義 佐賀

職員 工學部職員

八五

地質學教室

岩石學

地質學講座擔任
應用地質學講座分擔

地質學

層位學、層位學實驗
應用地質學講座分擔

助手 泉 勝海 熊本
助手 龜井 靜武 東京

教授理學士 松本 唯一 栃木
教授理學士 木下 龜城 福井
助教授工學士 中村 小四郎 福岡
助教授理學士 工學士 自在丸 新十郎 大分

建築構造、建築學、建築學設計及製圖

講師工學士 坪井 善勝 東京

授業擔當

細菌學

教授(醫學部勤務)醫學博士醫學士 戶田 忠雄 京都

工業經濟

教授(法文學部勤務)經濟學士 三田村 一郎 福井

授業囑託

航海運用術

平石 昌信 山口

測量學實習指導

漁船設計及機裝

船舶法規

航空氣象學

平爐

熔鑄爐

地質學實驗指導

航空法規

橫山 正三 廣島

工學士 宮崎 勇長 崎

工學士 荒木 賢保 東京

氣象臺技師理學士 須田 次詳 馬

工學士 角野 尙德 鹿兒島

工學士 安田 勇治 福岡

理學士 松下 久道 福岡

工學士 石田 正規 愛知

事務室

書記 井上 治雄 福岡

書記 松尾 誓行 福岡

書記 花房 重次郎 福岡

書記 河野 通雄 大分

○職員 工學部職員

農學部職員 (同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ依ル)

學部長

教授農學士 滿田隆一 兵庫

農學教室

畜產學第一講座擔任

教授農學士 久保健磨 福島

經濟學農政學第二講座擔任

教授農學博士法學士農學士 澤村 康 東京

氣象學統計學講座擔任

教授理學博士理學士 鈴木清太郎 福岡

農學第三講座擔任

教授農學士 木村修三 鹿兒島

農學第一講座擔任

教授農學士 盛永俊太郎 富山

畜產學第二講座擔任

教授農學博士農學士 丹下正治 愛知

經濟學農政學第一講座擔任

教授農學士 小出滿二 兵庫

園藝學講座擔任

教授農學士 伊藤壽刀 福岡

農業工學講座擔任

教授農學士 田町正譽 東京

經濟學農政學

助教授農學士 伊藤兆司 福岡

畜產學

助教授農學博士農學士 佐々木清綱 秋田

農業機械學、農業動力學

助教授農學博士農學士 森 周六 鹿兒島

園藝學

助教授農學士 福島榮二 大阪

農學第二講座擔任

助教授農學士 片山 佃 熊本

農業法律學

助教授法學士 久保田藤麿 三重

作物學

助教授農學士 永松土巳 佐賀

獸醫學 (應召中)

講師獸醫學士 後藤綾次郎 廣島

農業水工學

講師農學士 田中貞次 新潟

家畜生理學及家畜解剖組織學

講師 三村 一 長野

園藝學 (外國政府應聘中)

講師農學士 出光勝兵衛 福岡

農林構造力學演習及製圖、農業水理學

講師農學士 高田雄之 廣島

助手 三村 一 長野

助手 栗山英雄 福岡

助手農學士 高山宗人 福岡

○職員 農學部職員

生物學教室

植物學講座擔任
植物病理學講座擔任
動物學第一講座擔任
養蠶學講座擔任
動物學第二講座擔任
動物學
植物學

助手 大森 福義 香川
助手農學士 高田 雄之 廣島
助手農學士 吉野 新六 千葉
助手農學士 宮川 教二 福岡
助手農學士 岡本 正幹 熊本
助手農學士 山田 嘉夫 福岡

教授理學博士 理學士 纈 纈理一郎 岐阜
教授農學博士 農學士 中田 覺五郎 栃木
教授理學博士 理學士 大島 廣石 川
教授農學博士 農學士 田中 義麿 長野
教授理學博士 理學士 江崎 悌三 大阪
教授理學士 小山 準二 熊本
助教理學博士 理學士 小島 均 廣島

樹病學
蠶體病理學

助教授農學士 吉井 甫 東京
助教授農學士 林 禎二郎 兵庫

助手 瀧元 清透 石川
助手 堀 浩 福岡

助手農學士 池田 隼人 廣島
助手 坂本 博 岡山

助手農學士 村上 泰次郎 兵庫
助手農學士 藤田 光 茨城

(應召中)

農藝化學教室

生物化學講座擔任
農産製造學講座分擔
農藝化學第三講座擔任
農藝化學第一講座擔任
農藝化學第二講座分擔
○職員 農學部職員

教授農學博士 農學士 奥田 讓 福岡
教授農學博士 農學士 湯川 又夫 和歌山

教授農學士 滿田 隆一 兵庫
教授農學博士 農學士 川村 一水 高知

助教授農學士 濱田 松吉郎 大分

肥料學

農產製造學講座分擔

土壤學

酵素化學

農產製造學

助教授農學士 川島 祿郎 埼玉

助教授農學博士農學士 山崎 何惠 廣島

助教授農學士 平井 敬藏 大阪

助教授農學博士農學士 北川 松之助 愛知

講師農學博士農學士 高宮 悅雄 福岡

助手 西山 晴壽 鳥取

助手 眞鍋 茂樹 福岡

助手 吉留 涉 福岡

助手 片井 喜太郎 香川

助手農學士 高野 一郎 大阪

助手 花田 稔 福岡

林學教室

林學第四講座擔任

林學第三講座擔任

林學第五講座擔任

教授林學博士林學士 植村 恒三郎 福島

教授理學士林學士 土井 藤平 福岡

教授農學博士林學士 西田 屹二 鹿兒島

林學第二講座擔任

林學第一講座擔任

林學第六講座分擔

造園學

測樹學

樹木學、樹木學實驗

農林構造力學、森林工學、木材運搬設備

森林生態學

教授林學博士林學士 金平 亮三 岡山

教授林學士 片山 茂樹 岡山

助教授林學博士林學士 蓮見 道太郎 東京

助教授林學士 永見 健一 大阪

助教授農學博士理學士 長澤 武雄 東京

講師農學士 初島 住彦 長崎

講師農學博士農學士 渡邊 治人 大分

講師理學博士理學士 吉井 義次 群馬

助手農學士 大野 俊一 岐阜

助手農學士 初島 住彦 長崎

助手 東 鶴人 熊本

助手 卯尾田 秀隆 富山

助手 重松 將雄 福岡

授業擔當

○職員 農學部職員

經濟學

教授(法文學部勤務) 法學士 波多野 鼎 愛知

農業法律學、森林法律學

教授(法文學部勤務) 法學士 菊池 勇夫 東京

授業囑託

獨語

助教授(法文學部勤務) 文學士 佐藤 通次 山形

農業水工學

農學士 綾田 豐 香川

耕地法規(應召中)

農學士 萩原 大介 岡山

醱酵生理學ノ實驗指導

農學博士農學士 富安 行雄 福岡

化學實驗ニ關スル指導

農學博士農學士 佐々木 周 郁 兵庫

畜産ニ關スル實驗指導補助(應召中)

農學士 內田 久照 福岡

植物學實驗指導

農學士 玉井 虎太郎 愛媛

事務室

書記 立野 八兒 廣島

書記 山近 祐之 福岡

書記 高田 槌三 福岡

附屬農場

農場長

(外國政府應聘中)

教授農學士 盛永 俊太郎 富山

助手農學士 出光 勝兵衛 福岡

助手農學士 上野 盛道 鹿兒島

助手 牛島 喜一 福岡

助手農學士 中尾 一男 愛媛

助手 佐藤 義親 大分

書記 立野 八兒 廣島

書記 高田 槌三 福岡

書記 白水 雪 福岡

附屬演習林

演習林長

(糟屋演習林勤務)

(南鮮演習林勤務)

○職員 農學部職員

教授林學博士林學士 金平 亮三 岡山

助手 江藤 德 鹿兒島

助手農學士 平山 定克 宮崎

(臺灣演習林勤務)
(樺太演習林勤務)
(樺太演習林勤務)
(北鮮演習林勤務)

助手 藤原仁一 島根
助手 田中祐一 大分
助手 五味武雄 長野
助手 農學士 平尾經信 佐賀

法文學部職員 (同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ依ル)

學部長

教授法學士 河村又介 山口

教授

倫理學講座擔任
哲學哲學史第一講座擔任
西洋史學講座擔任
教育學講座擔任
哲學哲學史第三講座擔任

文學士 大島直治 鹿兒島
文學博士文學士 四宮兼之 愛知
文學博士文學士 長壽吉 東京
文學士 松濤泰巖 東京
文學士 中島慎一 東京

英文學講座擔任

文學博士文學士 豐田實 福岡

心理學講座擔任

文學博士文學士 佐久間 鼎 東京

財政學講座擔任

經濟學士 三田村一郎 福井

經濟學第四講座分擔

文學士 長沼賢海 新潟

國史學第一講座擔任

文學士 西山重和 島根

國際法國際私法第二講座擔任

文學博士文學士 佐野勝也 東京

政治史、外交史講座分擔

文學士 于瀉龍祥 福井

宗教學講座擔任

文學士 于瀉龍祥 福井

印度哲學史講座擔任

文學博士文學士 大澤章 東京

國際法國際私法第一講座擔任

文學博士文學士 大澤章 東京

法理學講座兼擔

文學博士文學士 大澤章 東京

哲學哲學史第二講座擔任

文學博士文學士 鹿子木員信 東京

商法第一講座擔任

文學博士文學士 野津務 島根

商法第二講座兼擔

文學士 楠本正繼 長崎

支那哲學史講座擔任

文學士 重松俊章 愛媛

東洋史學講座擔任

文學士 重松俊章 愛媛

行政法講座擔任

文學士 宇賀田順三 東京

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

○職員 法文學部職員

マスター、オブ、アーツ(コロンビア大學)
ドクトル、フイロンフイエ(イエナ大學)

政治學講座擔任
 政治史、外交史講座分擔
 社會法講座擔任
 國史學第二講座擔任
 民法第二講座擔任
 民法第三講座兼擔
 獨文學講座擔任
 憲法講座擔任
 經濟學第六講座擔任
 經濟學第三講座分擔
 經濟學第五講座擔任
 經濟學第一講座擔任
 經濟學第三講座分擔
 民法第一講座擔任
 民事訴訟法講座兼擔
 美學美術史講座擔任
 社會學講座擔任
 支那文學講座擔任

法學士 今中次廣 廣島
 法學士 菊池勇夫 東京
 文學士 竹岡勝也 山形
 法學士 舟橋諄一 大分
 文學士 小牧健夫 東京
 法學士 河村又介 山口
 經濟學士 森耕二郎 滋賀
 經濟學博士 經濟學士 谷口吉彦 和歌山
 法學士 波多野鼎 愛知
 法學士 阿武京二郎 山口
 文學士 矢崎美盛 山梨
 文學士 藏內數太 岡山
 文學士 目加田誠 山口

助教 授

心理學
 印度哲學史
 西洋法制史
 國文學
 獨文學
 英文學
 統計學
 民事訴訟法(在外研究中)
 法制史講座擔任
 行政法
 經濟原論
 農業政策
 倫理學

文學士 矢田部達郎 東京
 文學士 小野島行忍 埼玉
 法學士 武藤智雄 熊本
 文學士 小島吉雄 大阪
 文學士 佐藤通次 山形
 文學士 中山竹二郎 岡山
 經濟學士 高橋正雄 東京
 法學士 田中和夫 和歌山
 法學士 金田平一郎 茨城
 法學士 林田和博 熊本
 經濟學士 栗村雄吉 鳥取
 經濟學士 田中定福 岡山
 經濟學士 新開長英 福岡

○職員 法文學部職員

福岡高等學校教授文學士 新開長英 福岡

經濟史
保險學
地方財政論
佛文學講座分擔

經濟學士 遠藤正男 新潟
經濟學士 馬場克三 滋賀
經濟學士 米原七之助 福岡
法學士 文士 進藤誠一 京都

講師

言語學
地理學
刑事訴訟法
哲學
經濟學概論
佛蘭西法及國際法史
東洋史學
國史學
佛語經濟

文士 吉町義雄 靜岡
高松高等商業學校教授 文士 寺田貞次 京都
法學士 田村 豐山 山口
廣島高等學校教授 文士 田中 晃山 山口
京都帝國大學教授 文士 博士 高田保馬 佐賀
法學士 野見山 溫 福岡
文士 日野開三郎 愛媛
文士 鏡山 猛 福岡
經濟學士 堀 新一 三重

西洋史學

文士 小林榮三郎 福岡

授業囑託

心理學實驗演習指導
國文學
獨文學
英文學

文士 秋重義治 福岡
文士 笹月清美 福岡
福岡高等學校教授 文士 內藤 匡奈 良
廣島文理科大學備外國人教師 フランシス・
レオ・メーヤー 英國

助手

(兼)
(兼)

司書兼書記 田中鐵三 岐阜
書記 星出孝祐 山口
植村長三郎 香川
經濟學士 今井長二郎 大阪
文士 山崎末彦 熊本
經濟學士 土岐 強 愛媛

○職員 法文學部職員

(應召中)

- 文學士 檜垣元吉 山口
- 法學士 宋惠 普朝鮮
- 法學士 戸矢雅彌 埼玉
- 法學士 船越榮一 福岡
- 山崎正 福岡
- 文學士 釜田達玄 三重
- 文學士 太田鉄雄 福岡
- 文學士 法學士 柳春生 福岡
- 文學士 朴相鉉 朝鮮
- 法學士 石田省三 兵庫
- 文學士 永田英一 京都
- 書記 中野葛二 新潟
- 書記 清水邦夫 東京

事務室

- 書記 東郷萬七 福岡
- 書記 池上英敏 福岡

温泉治療學研究所職員 (同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ依ル)

- | | |
|----|-----------------------|
| 所長 | 九州帝國大學教授醫學博士 小野寺直助 福岡 |
| 所員 | 九州帝國大學教授醫學博士 高安慎 一東京 |
| | 九州帝國大學教授醫學博士 松尾武幸 福岡 |
| | 九州帝國大學教授醫學博士 小野寺直助 福岡 |
| | 九州帝國大學助教授醫學博士 串崎俊郎 島根 |
| 助手 | 醫學士 沖田頼四郎 佐賀 |
| | 醫學士 城戸義人 福岡 |

○職員 温泉治療學研究所職員

書記

(兼) 九州帝國大學書記
 (兼) 九州帝國大學助書記
 松木虎三郎 佐賀
 星出孝祐 山口
 阿部好一 福岡
 原田信次郎 福岡

藥劑手

村松 博 福岡
 加藤 愛 福岡

看護長

舊職員 (同官職中ノ氏名ハ轉、退職ノ順ニ依ル)

部別	官職	學位	氏名	任	補	轉	退
總長	總長	醫學博士	山川健次郎	明治十四年四月一日		大正二年五月九日(轉)	
		醫學博士	眞野文二	大正二年五月九日		大正十五年三月十九日(退)	
		農學博士	大工原 銀太郎	大正十五年三月十九日		昭和四年九月十二日(退)	
		(事務取扱)醫學博士	後藤 七郎	昭和四年九月十二日		昭和四年十月九日(退)	
		醫學博士	松浦鎮次郎	昭和四年十月九日		昭和十一年七月四日(退)	
		醫學博士	高山正雄	昭和十一年七月四日		昭和十一年十一月十八日(退)	
		(兼)	大岡 叢	昭和二年十二月廿二日		昭和三年十月三十日(廢)	
		(兼)	岡部 龍玄	昭和二年十二月廿二日		昭和三年十月三十日(廢)	
		(兼)	木村眞太郎	大正十二年三月二日		大正十二年三月卅一日(退)	
		(兼)	坂根友敬	明治十四年四月一日		大正十五年三月卅一日(退)	
		(兼)	大岡 叢	大正十五年五月卅一日		昭和二年十二月廿二日(退)	
		(兼)	村井龍察	昭和三年十月三十日		昭和四年九月三十日(退)	
事務官	事務官	(兼)	林 孝治郎	昭和六年十一月二日		昭和七年一月廿三日(轉)	
		(事務取扱)	坂根友敬	大正十五年十月廿七日		昭和十一年三月十七日(卒)	
		(事務取扱)	坂根友敬	明治十四年九月十一日		明治十四年十一月三日(退)	

○職員 舊職員

醫學博士	久保猪之吉	明治四十年一月十日	昭和十年二月七日(退)
醫學博士	武谷 廣	明治四十三年一月十九日	昭和十年六月五日(退)
醫學博士	小川 政修	大正二年四月八日	昭和十年十月九日(退)
醫學博士	白木 正博	大正十五年十月廿八日	昭和十一年五月九日(轉)
	栢 植宗 一	明治三十九年八月十七日	明治四十四年十一月十三日(死)
	正田直太郎	大正二年一月廿二日	大正二年三月卅一日(退)
醫學博士	望月 代次	明治四十四年十一月二十日	大正三年九月廿二日(退)
	奧島愛治郎	大正二年八月九日	大正四年五月十九日(退)
	田村於 兔	明治四十四年十一月二十日	大正四年九月二十日(轉)
醫學博士	北村 勝藏	明治四十四年十一月二十日	大正五年四月八日(退)
	富田 定壽	明治四十三年十月六日	大正六年三月十五日(退)
	三田源四郎	大正四年八月九日	大正六年十二月二十日(退)
	井戸 泰	大正五年四月八日	大正七年二月十二日(轉)
	保田 收藏	大正四年十月廿六日	大正八年三月十二日(死)
	矢野 雄	大正六年四月五日	大正八年三月廿四日(退)

醫學部			
助教授			
醫學博士	越智貞見	大正二年五月五日	大正十一年六月七日(轉)
醫學博士	泉 伍朗	大正六年十二月廿八日	大正十一年八月七日(退)
醫學博士	緒方 大象	大正八年五月一日	大正十二年三月七日(退)
醫學博士	穗積榮次郎	大正七年九月廿一日	大正十二年三月二十日(退)
	竹内 清	大正八年六月十二日	大正十二年六月廿五日(轉)
醫學博士	岩永仁雄	大正十一年八月七日	大正十三年三月卅一日(轉)
	鈴木 珍	大正九年三月三日	大正十三年九月廿二日(轉)
	西岡道隆	大正十一年十月十三日	大正十三年十二月廿七日(退)
醫學博士	久保護躬	大正十年一月廿一日	大正十四年三月七日(轉)
醫學博士	向井元亨	大正八年一月廿一日	大正十四年九月五日(退)
醫學博士	楠 正人	大正十二年三月卅一日	大正十四年十二月五日(退)
醫學博士	阪上虎彌太	大正十三年八月廿一日	大正十五年九月廿九日(退)
醫學博士	楠田彰司	大正六年四月五日	昭和二年六月三十日(退)
醫學博士	津野田誠吾	大正十五年五月十一日	昭和二年七月廿三日(轉)
醫學博士	諸岡 存	大正十二年十月廿四日	昭和二年十二月廿八日(退)

醫學博士	篠崎哲四郎	大正十一年十月十三日	昭和三年四月十八日(轉)
醫學博士	市原巖	昭和元年十二月廿七日	昭和三年七月十六日(退)
醫學博士	大野六郎	大正十四年二月四日	昭和三年十月卅一日(退)
醫學博士	高畑哲五郎	大正六年一月九日	昭和三年十月卅一日(退)
	山川強四郎	大正十四年四月十八日	昭和四年十一月八日(轉)
醫學博士	淺田爲義	大正十一年八月七日	昭和五年三月卅一日(退)
	中村新	大正四年十月十五日	昭和五年十月九日(退)
醫學博士	松島伯一	昭和五年二月十日	昭和五年十月九日(退)
醫學博士	今井良平	昭和三年十二月十五日	昭和六年三月二十日(退)
醫學博士	遠城寺宗德	昭和四年十一月三十日	昭和六年六月廿七日(轉)
醫學博士	三澤憲	昭和三年七月二十日	昭和六年十一月廿五日(退)
醫學博士	木塚新	昭和三年十月卅一日	昭和六年十一月廿五日(退)
醫學博士	菅野寛一	昭和五年二月十五日	昭和七年五月十九日(退)
醫學博士	東陽一	昭和五年六月廿四日	昭和七年六月六日(轉)
醫學博士	石山福二郎	大正十三年三月卅一日	昭和七年九月十四日(轉)

醫學博士	赤染種章	昭和七年一月二十日	昭和七年九月三十日(退)
醫學博士	大島宗二	昭和七年一月二十日	昭和七年十月十五日(退)
醫學博士	上垣淳造	大正十三年八月廿一日	昭和七年十二月十日(死)
醫學博士	古賀良彦	昭和七年十月十五日	昭和八年三月六日(退)
	豊山靜通	大正十二年七月卅一日	昭和八年七月卅一日(退)
醫學博士	谷口健康	昭和七年十月十五日	昭和九年二月十九日(退)
醫學博士	大倉玄一	大正十三年十二月十七日	昭和九年六月十一日(轉)
醫學博士	馬屋原茂	昭和八年七月卅一日	昭和九年六月十一日(轉)
醫學博士	正宗一	昭和三年十二月十五日	昭和九年六月十六日(轉)
醫學博士	深町穂積	大正十一年八月七日	昭和九年十一月三十日(退)
醫學博士	鈴木直光	昭和六年九月廿五日	昭和十年一月十日(退)
醫學博士	菅野寛一	昭和九年十月廿三日	昭和十年一月十六日(退)
醫學博士	内野豊生	昭和九年九月六日	昭和十年八月卅一日(轉)
醫學博士	立木豊	昭和五年一月十日	昭和十年九月廿五日(轉)
醫學博士	有澤保	昭和十年六月十五日	昭和十一年五月廿八日(退)

○職員 舊職員

○職員 舊職員

教授	
工學博士 渡邊芳太郎	明治十四年一月廿三日 大正十二年九月廿三日(卒)
工學博士 吉町太郎一	明治十四年一月廿三日 大正十三年九月廿六日(轉)
工學博士 宇佐美 桂二郎	明治十四年二月八日 昭和二年七月廿八日(歿)
工學博士 服部鹿次郎	明治十四年一月廿三日 昭和三年七月十三日(退)
工學博士 金子恭輔	大正四年七月十三日 昭和三年九月十三日(退)
工學博士 岩岡保作	明治十四年一月廿三日 昭和四年二月十二日(退)
工學博士 西川 希吉	明治十四年一月廿三日 昭和四年三月廿二日(退)
工學博士 高 壯吉	明治十四年七月廿五日 昭和四年五月十五日(退)
工學博士 降矢芳郎	明治十四年一月廿三日 昭和五年六月十八日(退)
野村省吾	大正十四年九月廿六日 昭和六年四月十四日(退)
理學博士 河村幹雄	大正八年八月十三日 昭和六年十二月廿七日(卒)
工學博士 末廣忠介	明治十四年一月廿三日 昭和七年二月二十日(退)
田邊唯司	大正九年七月十五日 昭和八年一月十一日(卒)
廣瀬瀧次	大正十一年九月廿九日 昭和八年六月七日(退)
(兼) 黒田泰造	昭和三年四月五日 昭和九年一月廿九日(退)

工學博士 降矢芳郎	大正十四年七月卅一日 昭和二年七月三十日(退)
工學博士 末廣忠介	昭和二年七月三十日 昭和四年七月卅一日(退)
工學博士 君島八郎	昭和四年七月卅一日 昭和六年七月卅一日(退)
工學博士 荒川文六	昭和六年七月卅一日 昭和八年七月卅一日(退)
工學博士 生源寺 順	昭和八年七月卅一日 昭和十一年六月廿六日(退)
工學博士 寺野寬二	昭和十一年六月廿六日 昭和十二年十一月廿五日(退)
工學博士 伊東榮三郎	明治十四年四月一日 大正元年九月廿三日(卒)
工學博士 中澤良夫	明治十四年四月一日 大正三年八月十五日(轉)
工學博士 菱田唯藏	大正二年九月十日 大正七年七月廿五日(轉)
工學博士 大竹太郎	明治十四年八月十一日 大正七年八月十日(退)
小林 巖	大正三年十二月十日 大正八年六月二十日(轉)
理學博士 曾我部 房吉	大正八年六月廿七日 大正八年八月廿八日(死)
工學博士 中原淳藏	明治十四年一月廿三日 大正十年九月三十日(退)
工學博士 熊倉 達	大正九年六月七日 大正十一年八月廿七日(卒)
工學博士 九深常哉	大正三年八月廿五日 大正十二年四月七日(退)

工學部

工學博士	野中季雄	大正十三年一月十二日	昭和九年五月十六日(退)
工學博士	君島八郎	明治十四年四月十五日	昭和十年二月七日(退)
工學博士	小野鑑正	明治十四年七月五日	昭和十一年三月卅一日(轉)
理學博士	佐古眞一	大正十三年八月廿一日	昭和十一年六月二十日(卒)
理學博士(兼)	米山國藏	大正十一年五月十七日	昭和十二年二月廿七日(退)
工學博士	荒川文六	明治十四年一月廿三日	昭和十二年三月卅一日(退)
工學博士	西田精	大正二年六月廿八日	昭和十二年六月三十日(退)
	奥村省三	大正十年十月一日	昭和十二年十一月三十日(退)
理學博士	山根新次	昭和四年五月廿五日	昭和十三年一月廿七日(轉)
	山川麒一郎	昭和十一年一月十一日	昭和十三年二月十八日(卒)
工學博士	吉田徳次郎	大正十三年八月廿一日	昭和十三年三月卅一日(轉)
	佐藤定吉	大正二年十一月廿八日	大正三年七月卅一日(轉)
	大場成實	明治十四年六月六日	大正三年九月十七日(退)
	小藤眞治	明治十四年六月廿六日	大正四年二月十一日(死)
	勝俣英	明治十五年七月三日	大正五年四月八日(退)

助教授

松田元	大正四年四月十四日	大正五年七月廿四日(退)
榮田忠	明治十五年四月十二日	大正六年二月十一日(退)
原龍三郎	大正三年十一月三十日	大正六年七月十八日(轉)
佐藤廣太	大正五年四月十七日	大正六年七月卅一日(轉)
柁原眞平	大正四年三月廿五日	大正六年十月十日(退)
多田美一	大正六年四月五日	大正六年十二月廿八日(退)
池内本	大正五年十一月三十日	大正七年八月二十日(退)
筑紫利三郎	大正三年十月九日	大正八年四月二日(死)
田原良秀	大正六年八月廿七日	大正八年七月十七日(死)
遠藤政直	大正七年八月廿四日	大正九年三月三日(轉)
小川頼甫	大正十年五月十六日	大正十一年十二月廿八日(死)
前田孝矩	大正十年四月廿五日	大正十二年八月三十日(轉)
松本七郎	大正十一年四月廿五日	大正十三年四月廿三日(退)
末綱恕一	大正十二年四月七日	大正十三年五月十九日(轉)
池田芳郎	大正十一年四月廿五日	大正十三年十二月廿七日(轉)

○職員 舊職員

工學博士	福田由耶	大正十一年六月十六日	大正十四年三月卅一日(退)
	鷹部屋福平	大正十年四月廿五日	大正十四年四月一日(轉)
	山田陽清	大正四年四月十四日	大正十四年八月廿四日(轉)
	小串孝治	大正十一年四月廿五日	大正十四年十月十四日(轉)
	田中謙三	大正十一年四月廿五日	昭和二年八月十三日(死)
	楢本達	大正十五年六月三十日	昭和三年六月十九日(死)
	稻葉治郎左衛門	大正十一年四月廿五日	昭和三年八月廿五日(退)
	佐伯功介	大正十三年三月卅一日	昭和四年四月一日(轉)
	淺羽隆太郎	大正十三年九月廿二日	昭和四年十一月二日(死)
	藤井忠二	昭和四年一月卅一日	昭和四年十一月六日(退)
	倉田謙	昭和二年五月十一日	昭和四年十二月廿七日(退)
	藤田守太郎	大正十四年八月廿四日	昭和十年三月二十日(退)
	渡邊扶生	昭和二年十月廿七日	昭和十年六月廿五日(退)
	佐藤恒義	大正九年七月十二日	昭和十一年六月十一日(退)
	山岡保	昭和四年六月十一日	昭和十一年九月廿五日(轉)

農場長		學部長																																																							
	丹下正治	昭和三十二年六月三十日	昭和十三年六月三十日(退)	各務一雄	昭和三十二年五月六日(死)	農學博士	本田幸介	大正十一年一月廿五日	大正十三年四月一日(退)	農學博士	加藤茂苞	大正十三年四月一日	大正十五年三月十九日(退)	農學博士	湯川又夫	大正十五年三月二十日	大正十五年三月廿七日(退)	農學博士	加藤茂苞	大正十五年三月廿七日	大正十五年四月一日(退)	農學博士	湯川又夫	大正十五年四月一日	昭和三年三月卅一日(退)	農學博士	片山外英雄	昭和三年三月卅一日	昭和五年七月一日(退)	農學博士	久保健慶	昭和五年七月一日	昭和七年七月一日(退)	農學博士	植村恒三郎	昭和七年七月一日	昭和九年六月三十日(退)	農學博士	奧田讓	昭和九年六月三十日	昭和十年七月一日(退)	農學博士	加藤茂苞	大正十年五月五日	大正十二年五月三日(退)	農學博士	久保健慶	大正十二年五月三日	昭和五年七月一日(退)	農學博士	高山卓爾	昭和五年七月一日	昭和七年七月一日(退)	農學博士	木村修三	昭和七年七月一日	昭和十一年六月三十日(退)

農學部	
演習林長	教授
林學博士 植村恒三郎	農學博士 加藤茂苞
大正十一年九月九日	大正十一年七月十五日
昭和七年七月一日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
土井藤平	農學博士 加藤茂苞
昭和七年七月一日	大正十一年七月十五日
昭和九年六月三十日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
片山茂樹	農學博士 加藤茂苞
昭和九年六月三十日	大正十一年七月十五日
昭和十三年六月三十日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
(兼) 岡嶋銀次	農學博士 加藤茂苞
大正十年二月十六日	大正十一年七月十五日
大正十一年六月三日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 本田幸介	農學博士 加藤茂苞
大正十年一月廿五日	大正十一年七月十五日
大正十一年七月十二日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 本田幸介	農學博士 加藤茂苞
大正十一年七月十二日	大正十一年七月十五日
大正十三年四月一日(轉)	大正十五年八月廿一日(退)
林學博士 堀田正逸	農學博士 加藤茂苞
大正十年六月十七日	大正十一年七月十五日
大正十四年七月四日(卒)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 大工原銀太郎	農學博士 加藤茂苞
大正十年二月四日	大正十一年七月十五日
大正十五年三月十九日(轉)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 加藤茂苞	農學博士 加藤茂苞
大正十年二月四日	大正十一年七月十五日
大正十五年三月十九日(轉)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 安藤廣太郎	農學博士 加藤茂苞
大正十年二月四日	大正十一年七月十五日
大正十五年八月廿一日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
林學博士 藤岡光長	農學博士 加藤茂苞
大正十二年十二月廿八日	大正十一年七月十五日
昭和二年十二月廿八日(轉)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 加藤茂苞	農學博士 加藤茂苞
大正十二年三月廿七日	大正十一年七月十五日
昭和三年六月七日(退)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 片山外美雄	農學博士 加藤茂苞
大正十二年三月十七日	大正十一年七月十五日
昭和六年十二月十七日(卒)	大正十五年八月廿一日(退)
農學博士 高山卓爾	農學博士 加藤茂苞
昭和三年五月十六日	大正十一年七月十五日
昭和八年六月二日(卒)	大正十五年八月廿一日(退)

農學部	
學部長	助教授
(兼) 榎本中衛	農學博士 小坂博
昭和九年十月廿四日	大正十五年五月卅一日
昭和十一年四月十五日(退)	昭和十年七月十日(轉)
森 順治郎	農學博士 小坂博
大正十年六月廿四日	大正十五年五月卅一日
大正十五年十月廿五日(退)	昭和十年七月十日(轉)
大岡 叢	農學博士 小坂博
大正十五年五月卅一日	大正十五年五月卅一日
昭和三年十月三十日(轉)	昭和十年七月十日(轉)
農學博士 川口榮作	農學博士 小坂博
大正十二年五月廿八日	大正十五年五月卅一日
昭和八年四月二十日(轉)	昭和十年七月十日(轉)
農學博士 小坂博	農學博士 小坂博
大正十五年五月卅一日	大正十五年五月卅一日
昭和十年七月十日(轉)	昭和十年七月十日(轉)
(兼) 榎田豊太郎	農學博士 小坂博
大正十四年六月十五日	大正十五年五月卅一日
昭和十二年三月十八日(轉)	昭和十年七月十日(轉)
法務取扱 美濃部達吉	農學博士 小坂博
大正十三年十月十一日	大正十五年五月卅一日
昭和二年十月八日(退)	昭和十年七月十日(轉)
文學博士 四宮兼之	農學博士 小坂博
昭和二年十月八日	大正十五年五月卅一日
昭和三年二月十八日(退)	昭和十年七月十日(轉)
春日政治	農學博士 小坂博
昭和三年二月十八日	大正十五年五月卅一日
昭和四年三月十五日(退)	昭和十年七月十日(轉)
大森研造	農學博士 小坂博
昭和四年三月十五日	大正十五年五月卅一日
昭和六年二月廿八日(退)	昭和十年七月十日(轉)
西山重和	農學博士 小坂博
昭和六年二月廿八日	大正十五年五月卅一日
昭和七年二月廿九日(退)	昭和十年七月十日(轉)
文學博士 鹿子木員信	農學博士 小坂博
昭和七年二月廿九日	大正十五年五月卅一日
昭和八年二月廿八日(退)	昭和十年七月十日(轉)
文學博士 大澤章	農學博士 小坂博
昭和八年二月廿八日	大正十五年五月卅一日
昭和九年二月廿八日(退)	昭和十年七月十日(轉)
文學博士 豊田實	農學博士 小坂博
昭和九年二月廿八日	大正十五年五月卅一日
昭和十年二月廿八日(退)	昭和十年七月十日(轉)

○通則

第一章 學年、學期及休業

第一條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第一條ノ二 學年ハ學部規程ニ別段ノ定アル場合ノ外之ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期 四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル

第二學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第二條 左ニ記載スル日ハ休業トス

日曜日	四月三日
神武天皇祭	四月二十九日
天長節	五月十一日
九州帝國大學記念日	秋分日
秋季皇靈祭	十月十七日
神嘗祭	十一月三日
明治節	

新嘗祭 十一月二十三日

大正天皇祭 十二月二十五日

新年拜賀式 一月一日

元始祭 一月三日

紀元節 二月十一日

春季皇靈祭 春分日

第三條 春季、夏季及冬季ノ休業日ハ左ノ如シ

春季休業 四月一日ヨリ同月十日ニ至ル

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

冬季休業 十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

第四條 休業中ト雖モ見學又ハ實習ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二章 學部

第一節 學生

第一 入學

○通則 第一章 學年、學期及休業 第二章 學部

第五條 入學ハ學年ノ始トス

第六條 學部ニ入學ヲ許スヘキ者ハ左ノ如シ

一、高等學校高等科ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アル者

一、學部ニ於テ臨時施行スル學力檢定試験ニ合格シタル者但シ此ノ試験ハ時宜ニ依リ高等學校

ニ委託スルコトアルヘシ

第七條 醫學部、工學部及農學部ニ在リテハ高等學校及學習院ノ高等科理科ヲ法文學部ニ在リテハ

同文科ヲ卒業シタル者ハ他ノ入學志望者ニ先チ入學ヲ許可ス

前項志望者ノ數學部收容豫定人員ヲ超過スルトキハ學部ニ於テ選抜試験ヲ行ヒ入學者ヲ定ム

第八條 前條ノ志望者ヲ入學セシメタル後尙缺員アル場合ニ於テハ左ニ掲クル者ニ入學ヲ許可ス

一、醫學部、工學部及農學部ニ在リテハ高等學校及學習院ノ高等科文科ヲ卒業シタル者

二、法文學部ニ在リテハ高等學校及學習院ノ高等科理科ヲ卒業シタル者

三、學力檢定試験ニ合格シタル者

前項志望者ノ數缺員ニ超過スルトキハ前條第二項ノ例ニ依ル

第八條ノ二 前二條ノ入學志望者ニ就キ學部ニ於テ必要アリト認ムルトキハ入學志望者ノ數學部收容

豫定人員ヲ超過セサル場合ト雖モ銓衡ノ上入學者ヲ定ムルコトヲ得

第九條 大學ニ於テ試験ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得タル者入學ヲ請フトキハ第七條ニ該當スル入

學志望者ヲ收容シ尙缺員アル場合ニ限り他ノ入學志望者ニ先チ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條ノ二 本學學生ニシテ退學シタル者再ヒ同一學部ニ入學ヲ請フトキ及他ノ帝國大學又ハ官立大

學學生ニシテ同一學部ニ轉學ヲ望ム者ハ缺員アル場合ニ限り入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條ノ三 大學令ニ依ル他ノ大學附屬大學豫科ヲ卒業シタル者ハ場合ニ依リ入學ヲ許可スルコトア

ルヘシ

第十條 入學志望者ハ二月十五日迄ニ願書ヲ當該學部長ニ差出スヘシ但シ期限後ト雖モ授業上差支ナ

キトキハ願書ヲ受理スルコトアルヘシ

前項ノ願書ニハ履歷書及醫師ノ體格検査書ヲ添付シ高等學校卒業生ニ在リテハ當該高等學校學習

院卒業生ニ在リテハ同院ヲ經テ差出スヘシ

第十一條 第六條第二號ノ學力檢定試験ヲ要スル者ハ受験料金拾圓ヲ納付スヘシ但シ既納ノ受験料ハ

受験者ノ都合ニ依リ入學願ヲ取消スコトアルモ之ヲ還付セス

第十二條 入學ヲ許可セラレタル者ハ入學料金拾圓ヲ納付スヘシ

○通則 第二章 學部

入學料ヲ納付セサル者アルトキハ第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第十三條 入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人一人ヲ設クヘシ

保證人ハ父又ハ兄トシ父兄ナキトキ若ハ已ムヲ得サル事情アルトキハ内地ニ居住スル成年ノ男子ニシテ學部長ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

保證人ハ保證書並ニ入學者ノ戶籍謄本ヲ差出シ在學中ニ係ル一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スヘキモノトス

第十四條 保證人居所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第十五條 保證人死去シ又ハ其ノ資格ヲ失フトキハ更ニ第十三條ノ手續ヲ經ヘシ

第十六條 入學者ハ本學ニ於テ定メタル方式ニ依リ専心勤學ノ宣誓ヲ爲スコトヲ要ス

故ナクシテ宣誓ヲ爲ササル者ニ對シテハ總長之ニ退學ヲ命ス

第十七條 入學者ハ入學料ヲ納付シ保證書ヲ差出シタル後ニ非サレハ講義、實驗ニ出席シ及圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ス

第二 授業

第十八條 學生ノ授業ニ關スル規定ハ學部ニ於テ之ヲ定ム

第十九條 學生ハ他ノ學部ノ科目ヲ學修スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ所屬學部長ヲ經テ該學部長ノ許可ヲ受クヘシ

第三 休學、轉學、退學

第二十條 疾病ニ因リ三箇月以上修學ヲ中止セントスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ學部長ニ願出テ其ノ許可ヲ受ケ休學ヲ爲スコトヲ得

休學ハ兵役ニ服スル場合ヲ除キ一箇年以上ニ亘ルコトヲ得ス但シ特別ノ事情アル者ニハ學部長ハ尙一箇年以内ノ休學ヲ許可スルコトアルヘシ

休學期間内ト雖モ其ノ事故已ムトキハ學部長ハ願ニ依リ復學ヲ許スコトアルヘシ

第二十一條 兵役ニ服スル者ハ其ノ現役又ハ應召中前條ニ準シテ休學シ滿期後直ニ復學スルコトヲ得

第二十二條 他ノ大學ニ轉學セントスルトキハ其ノ理由ヲ詳記シ學部長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ其ノ學籍ヲ除ク

第二十三條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ成業ノ見込ナシト認定シタルトキハ學部長ハ總長ノ認可ヲ經テ之ニ退學ヲ命スルコトヲ得

第二十四條 退學セントスルトキハ保證人連署ノ上學部長ニ願出ツヘシ

○通則 第二章 學部

第四 試驗

第二十五條 試驗ハ學部ノ規定スル所ニ依リ之ヲ行フ

第五 合格證書、稱號

第二十六條 大學令第十條ニ依リ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ニハ合格證書ヲ付與ス

第二十七條 前條ノ合格者ハ左ノ區別ニ從ヒ稱號ヲ用フルコトヲ得

醫學部 醫學士

工學部 工學士

農學部 農學士

法文學部 受験シタル科目ニ應ジ法學士文學士又ハ經濟學士

第六 授業料

第二十八條 授業料ハ一學年金百貳拾圓トシ年二期ニ之ヲ納付セシム其ノ每期ノ金額及納付期日ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 授業料納期最終日以前ニ於テ休學又ハ退學スルトキハ月割ヲ以テ授業料ヲ徵收ス但シ既納ノ分ハ之ヲ還付セス

復學ヲ許サレタル者ノ授業料ハ月割ヲ以テ之ヲ徵收ス

第三十條 停學ニ處セラレタル者ハ其ノ期間ト雖モ授業料ハ之ヲ徵收ス

第三十一條 放學ニ處セラレタル者ハ其ノ期ノ授業料ハ之ヲ徵收ス

第三十二條 授業料ヲ定日以内ニ納付セサル者アルトキハ本人及其ノ保證人ニ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ之ヲ除籍ス

第七 懲戒

第三十三條 學生ニシテ品行修マラス又ハ學業ヲ懈怠シ其ノ他懲罰ヲ要スト認ムル者アルトキハ總長ハ學部長ヲシテ懲戒ヲ行ハシム

第三十四條 懲戒ハ左ノ如シ

一、譴責

一、停學

一、放學

第二節 外國學生

第三十五條 外國人ニシテ學部所定ノ科目中一科目若ハ數科目ノ學業ヲ受ケントスル者アルトキハ明治三十四年文部省令第十五號ニ依リ之ヲ許可ス

○通則 第二章 學部

第三十六條 外國學生ニシテ當該學部所定ノ試験ニ合格シタル者ニハ本人ノ願ニ依リ學力ヲ檢定シ高等學校高等科卒業ト同等以上ト認メタルトキハ合格證書ヲ付與スルコトアルヘシ

第三十七條 外國學生ニハ正科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第三章 大 學 院

第三十八條 大學令第十一條ノ規定年限間本學學部又ハ他ノ大學學部ニ在學シタル者ニシテ大學院ニ入ラントスルトキハ研究事項ヲ具シ學部長ヲ經テ總長ニ願出ツヘシ總長ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス但シ必要ト認ムルトキハ學力檢定ヲ行フコトアルヘシ

第三十九條 前條以外ノ者ニシテ大學院ニ入ランコトヲ願出ツルトキハ總長ハ當該學部教授會ノ議ヲ經學力ヲ檢定シテ之ヲ許可ス

前項ノ出願者ハ入學檢定料金二十圓ヲ納付スヘシ

第四十條 第三十八條中他ノ大學學部ニ在學シタル者竝ニ前條ニ依ル者ノ入學願書ニハ學業履歷書及戶籍謄本ヲ添付スヘシ

第四十一條 大學院學生ハ當該學部長之ヲ監督ス

第四十二條 大學院學生ノ在學期ハ二箇年トス但シ研究ノ必要ニ依リ在學延期ヲ願出ツル者アルトキハ總長ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ三箇年以内一箇年毎ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條 大學院學生ノ指導ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ總長ノ選定シタル教官之ヲ擔任ス

教授會ニ於テ研究上必要ト認ムルトキハ總長ノ選定シタル他ノ學部ノ教官ヲシテ之カ指導ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第四十四條 大學院學生ハ當該學部内ニ於テ研究ニ從事スヘシ

第四十五條 大學院學生ハ本學所在地以外ニ居住シ又ハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス但シ當該學部ノ教務ニ從事シ又ハ評議會ニ於テ研究上必要ト認メタル場合若ハ兵役ニ服スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 大學院學生ハ指導教官及擔任教官ノ承認ヲ經テ學部ノ講義又ハ實驗ニ出席スルコトヲ得

第四十七條 大學院學生ハ在學二箇年ノ終ニ於テ其ノ研究成績ヲ指導教官ヲ經テ當該學部長ニ報告スヘシ但シ在學延期ヲ許可セラレタル者ハ一箇年毎ニ之ヲ報告スヘシ

第四十八條 大學院學生ニシテ學位ヲ得ント欲スル者ハ其ノ研究事項ニ就キ論文ヲ總長ニ提出スヘシ前項論文ノ審査ハ當該學部教授會ニ於テ之ヲ行ハシム若シ必要アリト認ムルトキハ特ニ試験ヲ行ハシムヘシ

第四十九條 大學院學生ハ研究料トシテ一箇年金七拾五圓ヲ納付スヘシ

○通 則 第三章 大 學 院

研究料ハ在學第一年ニ於テハ入學ノ際ニ在學第二年以後ニ於テハ入學ノ月ニ相當スル月ノ末日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第五十條 大學院學生ニシテ兵役ニ服スル者ハ其ノ服役中研究料ヲ免除ス但シ既納ノ分ハ之ヲ還付セス

第五十一條 特ニ獎勵ヲ加フヘキ事項ヲ研究スル者ハ評議會ノ議ヲ經テ第四十九條ノ研究料ヲ免除シ又ハ研究ニ要スル相當ノ費用ヲ給與スルコトアルヘシ

第五十二條 大學院學生ニシテ研究料納付ノ義務ヲ怠ル者ハ之ヲ除籍ス

第五十三條 大學院學生ニシテ第四十四條、第四十五條及第四十七條ノ規定ニ違反スル者若ハ品行修マラス又ハ研究ノ成績不良ニシテ其ノ目的ヲ達スルコト能ハスト認メタル者ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ之ヲ除籍ス

第五十四條 大學院學生退學セントスルトキハ學部長ヲ經テ總長ニ願出ツヘシ

第五十五條 第十六條ハ之ヲ大學院學生ニ適用ス

第四章 特選給費學生

第五十六條 大學院學生中學力優秀志操堅固ニシテ永ク學術ノ攻究ニ從事セントスル者若干名ヲ選抜

シテ研究料ヲ免除シ學費ヲ給與シ大學院ニ於テ研究ヲ爲サシム之ヲ特選給費學生トス

第五十七條 學部長ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ特選給費學生タルニ適當ノ者ヲ選抜シテ之ヲ總長ニ推薦シ總長ハ評議會ノ議ヲ經テ之ヲ定ム

第五十八條 學資ハ一人一箇月金五拾圓以内トシ一箇年間之ヲ給與ス但シ必要アル場合ニ於テハ評議會ノ議ヲ經テ更ニ期間ヲ定メ之ヲ繼續スルコトヲ得

第五十九條 特選給費學生ハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第六十條 總長ハ學部長ノ申請ニ依リ特選給費學生ニ副手ヲ囑託スルコトアルヘシ

第六十一條 特選給費學生ニシテ其ノ資格ニ缺クル者アルトキハ總長ハ評議會ノ議ヲ經テ之ヲ免ス

第六十二條 本章ニ掲クルモノノ外ハ第三章ノ規定ニ依ル

第五章 選科生

第六十三條 醫學部、農學部及法文學部所定ノ科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇シテ修學セントスル者アルトキハ設備ニ差支ナキ限り選科生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十四條 選科生ノ入學ニ關スル規定ハ學部ニ於テ之ヲ定ム

第六十五條 本章規定ノ外ハ總テ正科生ニ關スル規定ヲ準用ス

○通則 第四章 特選給費學生 第五章 選科生

第六章 專攻生

一四〇

第六十六條 本學學部ニ於テ特殊事項ニ就キ攻究セントスル者アルトキハ設備ニ差支ナキ限り專攻生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十七條 醫學部ニ於テ攻究ヲナサントスル者ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ限ル

一、醫師、齒科醫師及其ノ資格アル者

二、大學令ニ依ル大學、文部省直轄諸學校及專門學校令ニ依ル學校ヲ卒業シタル者

三、當該學部長ニ於テ適當ナリト認メタル者

第六十八條 工學部、農學部及法文學部ニ於テ攻究ヲナサントスル者ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ限ル

一、大學令ニ依ル大學及專門學校令ニ依ル學校ヲ卒業シタル者

二、當該學部長ニ於テ適當ナリト認メタル者

第六十九條 專攻生タラントスル者ハ入學願書ニ攻究事項ヲ具シ履歷書ヲ添ヘ當該學部長ニ願出ツヘシ

第七十條 前條ノ出願者ハ入學料金拾圓ヲ納付スヘシ

第七十一條 入學期ハ每學期ノ始トス但シ特別ノ事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條 專攻生ノ指導教官ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ學部長之ヲ決ス

第七十三條 專攻生ハ指導教官及擔任教官ノ承認ヲ經テ學部ノ講義又ハ實驗ニ出席スルコトヲ得

第七十四條 專攻生ハ其ノ攻究成績ヲ指導教官ヲ經テ當該學部長ニ差出スヘシ

其ノ時期ハ指導教官之ヲ指定ス

第七十五條 攻究料ハ一箇年金七拾五圓トシ第二十八條ノ例ニ依リ之ヲ前納セシム既納ノ攻究料ハ之ヲ還付セス

第七十六條 兵役ニ服スル者ハ其ノ服役中攻究料ヲ免除ス

第七十七條 攻究ニ要スル特別ノ費用ハ專攻生ノ自辨トス

第七十八條 特ニ獎勵ヲ加フヘキ事項ヲ攻究スル者ハ當該學部長ニ於テ總長ノ認可ヲ經第七十五條ノ攻究料ヲ免除スルコトヲ得

第七十九條 專攻生ニシテ相當ノ攻究ヲナシタリト認ムル者ニハ當該學部長ハ證明書ヲ授與スルコトアルヘシ

第八十條 專攻生退學セントスルトキハ學部長ニ願出ツヘシ

○通則 第六章 專攻生

一四一

第八十一條 攻究料ヲ納付セサル者、體面ヲ汚シタル者、攻究ヲ怠ル者及疾病其ノ他ノ事故ニ依リ攻究ノ目的ヲ達スルコト能ハスト認メタル者ハ之ヲ除籍ス

第七章 聽講生

第八十二條 工學部及法文學部ニ於テ相當ノ學力アリト認メタル者ニシテ所定ノ科目中一科目若ハ數科目ヲ選ヒ聽講セントスル者アルトキハ設備ニ差支ナキ限り學期毎ニ聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第八十三條 聽講生ノ授業ニ關スル規定ハ學部ニ於テ之ヲ定ム

第八十四條 聽講料ハ每學期工學部ニ於テハ一科目法文學部ニ於テハ一單位ニ相當スル授業ニ付金七圓トシ之ヲ前納セシム

既納ノ聽講料ハ之ヲ還付セス

第八章 獎學資金

第八十五條 大學院及學部學生ニ給費又ハ貸費ヲ爲シ若ハ金員又ハ物品ヲ當與シ其ノ他獎學ノ爲ニ資金ヲ寄附セントスル者アルトキハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

獎學資金ハ寄附者ノ指定スル名義ヲ付スルコトヲ許可スルコトアルヘシ

第八十六條 寄附者ハ貸費給費又ハ賞與ヲ付スヘキ學科ヲ指定シ及貸費又ハ給費ヲ受ケタル學生ヲシテ或ル期間相當ノ報酬ヲ以テ一定ノ事業ニ從事セシムルコトヲ條件トスルコトヲ得

第八十七條 貸費ハ學力優等品行方正ニシテ學資支辨ノ途ナキ學生ニ一年以内ヲ期シ年額貳百四拾圓

以内ヲ貸付スルモノトス但シ寄附者ニ於テ其ノ額ヲ指定スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條 貸費ヲ受ケント欲スル者ハ其ノ理由ヲ具シ學部長ヲ經テ總長ニ願出ツヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタルトキハ身元確實ナル保證人二名(内一名ハ福岡市内又ハ附近町村居住者ニ限ル)ト連署ノ上別ニ定ムル書式ニ依リ證書ヲ總長ニ差出スヘシ

第八十九條 休學ヲ爲シタル者ニハ其ノ休學期間給費又ハ貸費ヲ停止スルコトアルヘシ

第九十條 停學ニ處セラレタル者ニハ給費又ハ貸費ヲ罷ム

第九十一條 貸費ヲ受ケタル者ハ修學ヲ終リタル後一年ヲ經過シタル翌月ヨリ起算シ其ノ貸費ヲ受ケタル年月ニ二倍スル期間ニ月賦ヲ以テ返納スヘシ

但シ自己ノ都合ニ依リ月賦額以上ノ割合ヲ以テ返納シ又ハ一時ニ全部ヲ返納シ若ハ本項所定ノ期限前ヨリ返納シ始ムルコトヲ得

第九十二條 已ムヲ得サル事情ニ因リ貸費返納ノ延期ヲ願出ツル者アルトキハ總長之ヲ許可スルコト

○通則 第七章 聽講生 第八章 獎學資金

アルヘシ

第九十三條 貸費ヲ受ケタル者放學ニ處セラレタルトキハ其ノ金額ヲ即時返納セシム

第九十四條 貸費ヲ受ケタル者願ニ依リ退學シタルトキハ其ノ金額ヲ即時返納セシム但シ事情ニ因

リ第九十一條ノ規定ニ準シ返納セシムルコトアルヘシ

第九十五條 貸費ヲ受ケタル者死亡シ又ハ不治ノ疾病ニ罹リ恢復ノ見込ナキトキハ總長ハ貸費ノ全部

又ハ一部ノ返納ヲ免除スルコトアルヘシ

附 則

本改正ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ現ニ在學ノ者ハ入學後三年間（醫學部學生ハ四年間）ハ仍從前ノ額トス

附 則

本改正ハ昭和七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ貸費ヲ受ケタル者ニシテ本規定施行ノ後ニ返納スル元金ニ對シテハ利子ヲ徵セス

附 則

本改正ハ昭和九年四月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本改正ハ昭和十二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

○ 副 手 規 程

第一條 九州帝國大學ニ副手ヲ置ク無給トス但シ時宜ニ依リ有給ト爲スコトアルヘシ

第二條 副手ハ大學院學生、學士若ハ學士ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ限り總長之ヲ囑託ス

第三條 副手ハ教授助教ノ指揮ヲ承ケ學術ニ關スル職務ニ服ス

○ 圖 書 館 規 則

第一條 本館ハ九州帝國大學所屬圖書ノ管理ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 本館ノ管理スル圖書ヲ分チテ左ノ二類トス

一、本館備付ノ圖書

二、各局部備付ノ圖書

第三條 本館備付ノ圖書ヲ分チテ左ノ三種トス

○ 副手規程 ○ 圖書館規則

一、貴重圖書

二、辭書、事彙、叢書並ニ諸學科ニ通スル參考書

三、普通圖書

第四條 前條第一號ノ圖書ハ公用ノ目的ヲ以テ館長ノ承認ヲ得タル場合又第二號ノ圖書ハ館長ノ承認ヲ得タル場合ニ限り之ヲ借受クルコトヲ得

逐時又ハ定期ノ刊行物ニシテ未完冊ノモノハ部局ノ外借受クルコトヲ得ス

第五條 各部局ハ公用トシテ本館備付ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得其ノ借受冊數及期間ハ制限セス但シ

貴重圖書ハ二部三冊ヲ限リ一日ヲ超ユルヲ得ス

完冊ヲナササル刊行物ハ五部十冊ヲ限リ十五日ヲ超ユルヲ得ス

第六條 參考用トシテ本館備付ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得ル者ハ職員、大學院學生、專攻生及圖書借

受ノ特許ヲ得タル者トシ其ノ借受期間ハ三箇月以内トス

冊數ハ左ノ如シ

教授、助教授、講師

各三十冊以内

事務官、司書官、技師、藥局長

各二十冊以内

助手、技手、司書、藥劑手、副手、醫員、大學院學生、專攻生

各十冊以内

前項以外ノ職員ニシテ所屬部局長又ハ教室、研究室主任ノ證明

ヲ有スル者及借受ノ特許ヲ得タル者

各五冊以内

第七條 學生生徒ニシテ教室又ハ研究室主任ノ證明ヲ有スル者ニ對シテハ一般閱覽ニ支障ナキ限り圖書ヲ貸付スルコトアルヘシ其ノ借受冊數ハ三冊以内ニシテ期間ハ一箇月限トス

第八條 借受ノ冊數ハ洋裝ノモノニ就テ之ヲ定メ和漢裝ノモノハ三冊ヲ以テ圖書等ノ幅或ハ帙ヲナス

モノハ一幅或ハ一帙ヲ以テ各一冊ト看做ス

第九條 借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保管ノ責ニ任シ決シテ他ニ轉貸スヘカラス

第十條 職員ノ本學ヲ去ルトキ學生生徒ノ卒業、退學、休學シ又ハ停學ニ處セラレタルトキハ借受ケ

タル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

第十一條 借受ケタル圖書ハ期間中ト雖モ毎年七月一日ヨリ十日迄ノ間ニ一旦返納スヘシ但シ必要ア

ルトキハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第十二條 各部局ニ於テ圖書ヲ備付クル場合ニハ當該部局長ヨリ定式ノ備付書ヲ本館ニ差出スヘシ

第十三條 各部局ニ備付ケタル圖書ハ各部局長及教室又ハ研究室主任其ノ保管ノ責ニ任スヘシ

○圖書館規則

館長ハ管理上必要アリト認メタルトキハ係員ヲ派遣シテ前項ノ圖書ヲ調査スルコトヲ得

第十四條 本館ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

一、職員

二、學生生徒

三、本學ヲ卒業シタル者

四、他ノ帝國大學ヲ卒業シタル者

五、他ノ帝國大學學生生徒ニシテ當該大學ノ證明ヲ有スル者

六、總長ノ特許ヲ得タル者

第十五條 本館ノ書庫ニ入り圖書ヲ檢索ヲナスコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

一、教授、助教授、講師

二、事務官、技師、藥局長

三、指導教官ノ證明ヲ有スル大學院學生、專攻生

四、當該學部長若ハ當該教室又ハ研究室主任ノ證明ヲ有スル助手、副手、學生、生徒

五、總長ノ特許ヲ得タル者

第十六條 本館ノ圖書ヲ閱覽セントスル者ハ本館事務室ニ就キ閱覽票ノ交付ヲ受クヘキモノトス

第十七條 本館ノ書庫ニ入り圖書ヲ檢索セントスル者ハ本館事務室ニ就キ檢索許可證ノ交付ヲ受クヘ

キモノトス

第十八條 貴重圖書ハ教授、助教授及講師ノ外總長ノ許可ヲ得タル者ニ限り之ヲ閱覽スルコトヲ得

第十九條 圖書ヲ汚損又ハ紛失シタルトキハ同一ノ圖書又ハ相當ノ代金ヲ以テ之ヲ辨償セシム

第二十條 本規則ニ違反シタル者アリタルトキハ相當ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第二十一條 左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ都度總長ノ許可ヲ經ヘキモノトス

一、諸官廳又ハ公共團體ヨリ圖書ノ貸付ヲ申込ミタルトキ

二、諸官廳ノ吏員又ハ公共團體ノ代表者ヨリ公用上圖書ノ閱覽若ハ檢索ヲ申出タルトキ

第二十二條 本館ニ圖書ヲ寄託セントスル者アルトキハ其ノ需ニ應スルコトアルヘシ

寄託ヲ受ケタル圖書ハ本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスモノトス

第二十三條 圖書閱覽及檢索ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

第二十四條 本規則ハ大正十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

○圖書館規則

第二十五條 九州帝國大學圖書館規程ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一五〇

○圖書閱覽及檢索ニ關スル規程

第一條 圖書ノ閱覽ハ總テ所定ノ室内ニ於テナスヘキモノトス

第二條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書閱覽票ヲ掛員ニ提出シ閱覽證書用紙ニ所定ノ事項ヲ記入シテ貸出ヲ受ケ閱覽終ラハ直ニ返納スヘシ

教官(講師ハ之ニ準ス以下同シ)ハ圖書閱覽票ヲ示シ前項ノ手續ニ據ラスシテ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第三條 閱覽部冊數ハ一時ニ五部十五冊ヲ超ユルヲ得ス但シ和裝書ハ三冊ヲ以テ洋裝書ノ一冊ト看做シ圖書等ノ幅或ハ帙ヲナスモノハ一幅或ハ一帙ヲ以テ各一冊ト看做ス

裝釘セサル逐時又ハ定期ノ刊行物ハ其ノ一完冊ヲナス迄ノ若干號ヲ合シテ一冊ト看做ス

第四條 總長ノ許可ヲ得テ貴重圖書ヲ閱覽セントスル者ハ制規ノ願書ニ所定ノ事項ヲ記載シテ願出ツヘシ

教官以外ノ職員又ハ學生ニシテ貴重圖書ヲ閱覽セントスル者ハ職員ニ在リテハ當該部局長學生及

生徒ニ在リテハ教室又ハ研究室主任ノ證明ヲ得テ前項ノ手續ヲナスヘシ

第五條 閱覽票ハ他ニ轉貸スルヲ許サス又之ヲ遺失シタルトキハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第六條 新聞ハ所定ノ室内ニ於テ閱覽シ閱覽終ラハ元ノ場所ニ置クヘシ

第七條 閱覽室ハ左ノ日時之ヲ閉ク但シ臨時之ヲ變更スルコトアルヘシ

平日 午前八時ヨリ午後九時迄

日曜日 午後六時ヨリ午後九時迄

自七月十五日 午前七時ヨリ正午迄

至七月三十一日

自八月二十一日

至九月十五日

同

第八條 閱覽室ハ左ノ定日之ヲ閉ツ但シ臨時之ヲ閉ツルコトアルヘシ

自十二月二十七日

至翌年一月五日

自八月一日

至八月二十日

○圖書閱覽及檢索ニ關スル規程

一五一

祝 日

祭 日

本學記念日

春季、夏季及冬季休業中ノ日曜日

毎月第一日

第九條 圖書ノ檢索ヲナサントスル者ハ書庫ニ入ルニ先チテ檢索許可證ヲ在庫證ト引換フヘシ

第十條 圖書ヲ檢索スルノ際圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ノ障碍ヲナササル様注意スヘシ

第十一條 貴重圖書ヲ檢索セントスル者ハ更ニ其ノ旨ヲ申出テ掛員立會ノ上檢索ヲナスヘシ

第十二條 閱覽中ノ圖書ヲ汚損又ハ紛失シタルトキハ同一ノ圖書又ハ相當ノ代金ヲ以テ之ヲ辨償セシ

ムルコトアルヘシ

第十三條 學生生徒ノ休學シ又ハ停學ニ處セラレタル者ニハ閱覽ヲ停止ス

第十四條 本規程又ハ本館ノ指示スル事項ニ違反シタル者ニハ一定ノ期間閱覽ヲ停止シ其ノ旨ヲ閱覽

室内ニ揭示ス

附 則

第十五條 本規程ハ大正十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

○ 圖書館商議委員會規程

第一條 九州帝國大學附屬圖書館商議委員會ハ圖書館ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス

第二條 商議委員會ハ九州帝國大學附屬圖書館長及同商議委員ヲ以テ組織ス

第三條 商議委員ハ各學部毎ニ教授二人ヲ以テ之ニ充テ委員長ハ圖書館長トス

委員ハ總長之ヲ命シ其ノ任期ヲ二年トス

第四條 商議委員會ハ委員長之ヲ召集シ其ノ議長トナル

第五條 商議委員會ハ商議委員半數以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第六條 委員長ハ必要アル場合ニ於テハ商議委員以外ノ本學職員ニ列席ヲ求ムルコトヲ得

臨時列席セル本學職員ハ議決ノ數ニ加ハラス

附 則

第七條 本規程ハ大正十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

○ 圖書館商議委員會規程

外 科 學 總 論	溫 泉 治 療 學	內 科 學 臨 床 講 義	內 科 學 各 論	內 科 診 斷 學 實 習	內 科 學 總 論	榮 養 學 實 習	植 民 衛 生 學	處 方 學	血 清 化 學	實 驗 病 理 學	寄 生 蟲 病 學 實 習	寄 生 蟲 病 學
三			三		三							
三			六	六								二
				三					一·五	二		
		六					一					
		六										
		六										△
	一	六				△	一					△
		六				△						△

病 的 材 料 示 說	遺 傳 學	運 動 生 理 學	應 用 解 剖 學	衛 生 學 實 習	衛 生 學	法 醫 學 實 習	法 醫 學	細 菌 學 實 習	細 菌 學	藥 理 學 實 習	藥 理 學	病 理 學 實 習
											三·五	
									二		四	三
									二	三	二	八
	一·五	一·五	一					五·五				
△					一·五	△	二					
△					一·五	△	二					
△				△								
△				△								
△				△								

第七條 大學令第十條ニ依ル學士試驗ハ學生ノ申請ニ依リ左ノ學科ニ就イテ之ヲ施行ス

- 解剖學
- 生理學
- 化學
- 病理學
- 藥理學
- 細菌學
- 內科學
- 精神病學
- 小兒科學
- 外科學
- 整形外科學
- 產科學婦人科學
- 眼科學

- 皮膚科學
- 泌尿器科學
- 耳鼻咽喉科學
- 齒科學口腔外科學
- 放射線治療學
- 衛生學
- 法醫學

第八條 試驗ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル者ハ第三條ノ修學學科目終了ノ證明ヲ受ケタル者ニ限ル

解剖學、生理學、醫化學、病理學、藥理學及細菌學ノ試驗ニ合格シタル後ニ非サレハ其ノ他ノ學科ノ試驗ヲ申請スルコトヲ得ス

第九條 試驗ハ試驗學科擔任ノ教官之ヲ施行ス

擔任教官事故アルトキハ他ノ教官之ヲ施行スルコトアルヘシ

第十條 試驗ノ成績ハ合格トシ合格トシ合格ヲ更ニ優、良、可ノ三種トス

第十一條 試驗ハ每學期ノ終ニ施行シ其ノ期日ハ二週間以前ニ之ヲ揭示ス但シ臨床學科ノ試驗ハ學期

中ニ於テ行フコトアルヘシ

第十二條 試験ノ申請ハ試験期日ノ一週間以前ニナスヘシ

第十三條 病氣其ノ他已ムヲ得サル事故アリテ試験ニ出席スルコト能ハサルトキハ試験缺席届ニ醫師ノ診断書若ハ其ノ理由書ヲ添付シ當該學科擔任教官ノ承認ヲ經テ試験當日迄ニ之ヲ學部長ニ差出スヘシ

第十四條 前條ノ手續ヲ經テ缺席シタル者ハ次回ノ試験期ニ於テ試験ヲ受クルコトヲ得

同條ノ手續ヲ經スシテ缺席シタル者ハ次回ノ試験期ニ於テ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第十五條 或學科ノ試験ニ於テ不合格ノ成績ヲ得タル者ハ同一學期ニ於テ再ヒ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條 在學八箇年ニ及ヒ第八條ニ定ムル試験ノ全部ニ合格セサル者ハ退學シタル者トス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

前項ノ在學期間ニハ他ノ大學ニ於ケル在學年限ヲ通算スルコトアルヘシ

第三章 選 科 生

第十七條 修學學科中一學科若ハ數學科ヲ選擇シテ之ヲ修メントスル者アルトキハ選科生トシテ設備

ニ差支ナキ限り許可スルコトアルヘシ

前項ノ志望者ハ二月十五日迄ニ入學願書ニ履歷書ヲ添付シ差出スヘシ

第十八條 選科生タラントスル者ハ左ノ資格ノ一ヲ有スルコトヲ要ス

一、官公立醫學專門學校及專門學校令ニ依ル私立醫學學校卒業生

二、舊高等學校醫學部及舊高等中學醫學部卒業生

三、舊京都、大阪、愛知醫學學校卒業生

四、舊別科醫學卒業生

五、舊甲種醫學學校卒業生

六、外國醫科大學ニ於テ學位ヲ得タル者

七、醫術開業免狀ヲ有スル者ニシテ學力檢定試験ニ合格シタル者但シ齒科醫術開業免狀ヲ有スル者ニシテ學力檢定試験ニ合格シタル者ハ齒科學ノ選科生タルコトヲ得

第十九條 各學期ニ於ケル選科生ノ員數ハ學期ノ始ニ於テ當該學科擔任教官之ヲ定ム

第二十條 入學志望者ノ員數前條ノ收容人員ニ超過スルトキハ選拔試験ヲ施行ス

第二十一條 學力檢定試験及選拔試験ニ關スル細則ハ學部長之ヲ定ム

第二十二條 本章規定ノ外ハ正科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附 則

本規程ハ昭和五年七月二十三日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本改正ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本改正施行ノ際現ニ在學スル學生ニ對シテハ新舊規程ヲ參酌シテ適宜之ヲ定ム

○醫學部附屬醫院規程

(明治三十六年五月一日制定)

第一條 本院ハ醫學ノ研究及授業ノ目的ヲ以テ患者ヲ治療スル所トス

第二條 患者ヲ分チテ入院患者及外來患者ノ二種トス

第三條 入院患者ハ官費ヲ主トシ傍ラ私費入院ヲモ許可スルモノトス

但シ私費患者ニ要スル費用ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 外來患者ノ費用ハ患者ノ自辨トス

但シ病症ニ依リ治療上一切ノ費用ヲ徴收セサルコトアルヘシ

第五條 本規程ノ施行ニ關スル細則ハ大學總長別ニ之ヲ定ム

○看護員養成科規則

第一條 看護員養成科ハ一般患者ヲ看護スルノ方法ヲ授クル爲ニ之ヲ設ク

第二條 看護員生徒ヲ分チテ看護婦生徒及看護手生徒トス

看護婦生徒ハ普通患者及女子精神病患者、看護手生徒ハ男子精神病患者看護ノ講習ヲ爲スモノトス

第三條 生徒募集ノ期日ハ其ノ都度之ヲ廣告ス

第四條 入學志望ノ者ハ左ノ要件ヲ備フルコトヲ要ス

看 護 婦

一、年齢滿十五歲以上二十五歲以下ノ女子ニシテ高等小學校卒業若ハ高等女學校二學年修業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

一、身體健全ナル者

一、品行方正ナル者

一、家事ニ係累ナキ者

○醫學部附屬醫院規程 ○看護員養成科規程

看護手

一、年齢満二十二歳以上三十五歳以下ノ男子ニシテ高等小學校卒業若ハ中學校二學年修業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

一、身體健全ナル者

一、品行方正ナル者

一、家事ニ係累ナキ者

第五條 生徒ハ左ノ學科目ニ就キ入學試験ヲ行ヒ體格ヲ検査シ合格シタル者ヲ採用ス

一 算術

一 讀書

一 書取

一 作文

高等小學校卒業程度

口頭試問ヲ爲スコトアルヘシ

第六條 生徒志望者ハ第一號書式ノ入學願書ニ履歷書、戶籍謄本及寫眞ヲ添ヘ差出スヘシ

第七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ第二號書式ノ證書ヲ差出スヘシ

第八條 生徒ハ入學ノ際宣誓簿ニ記名スヘシ

第九條 生徒養成ノ期間ハ二ケ年トス其ノ授業科目左ノ如シ

一 修身

一 解剖學大意

一 生理學大意

一 看護法

一般看護法 附 死後ノ處置

傳染病患者看護法

精神病患者看護法

小兒病患者看護法

産婦看護法

一 治療介補法

一 醫療器械學大意

一 消毒法

○看護員養成科規程

- 一 繙帶學大意
- 一 救急法
- 一 衛生學大意
- 一 實習

前項ノ外課外トシテ一科目若ハ數科目ヲ教授スルコトアルヘシ

第十條 試験ヲ分チテ進級試験及卒業試験トス

第十一條 進級試験ハ講義終了ノ學科毎ニ一年ノ終迄ノ間ニ於テ卒業試験ハ二年ノ終ニ於テ施行シ合格者ニハ卒業證書ヲ授與ス但シ各期間内授業ヲ受ケサルコト授業時數中三分ノ一以上ニ及フ者ハ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第十二條 卒業ノ後二ケ年間ハ本院看護員ヲ勤務スルノ義務アルモノトス

第十三條 生徒ニハ制服制帽ヲ貸付シ食餌及日給ヲ給與シ本院寄宿舎ニ寄宿セシム

第十四條 生徒ハ半途退學スルヲ許サス但シ卒業ノ見込ナキ者ハ之ヲ退學セシム

第十五條 生徒ハ本院ノ諸規則ヲ遵守シ尙講師醫員藥劑員事務員及看護員ノ指揮ニ從ヒ業務ニ服スヘシ

第十六條 在學中不都合ノ行爲アリテ退學ヲ命シタルトキ又ハ義務年限中義務ニ違背シ其他不都合ノ行爲ニ依リテ解職シタルトキハ養成期間中支給シタル金額ヲ一時ニ返納セシム但シ情狀ニ依リ特別ノ處分ヲナスコトアルヘシ

(第一號、第二號書式略ス)

○ 產婆養成科規則

第一條 本科ハ產婆ニ必要ナル學術ヲ授ケ且實地練習ヲ爲サシムルヲ以テ目的トス

第二條 本科ノ授業ハ九州帝國大學醫學部產科學婦人科學教室ニ於テ當該講座擔任教授監督ノ下ニ之ヲ行フ

第三條 本科ノ修業年限ハ二箇年トス

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 九州帝國大學通則第二條ニ記載スル日ハ休日トス但シ休業日ト雖モ實習ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第六條 學科目左ノ如シ

○ 產婆養成科規則

第一一年

- 一 修身
- 二 解剖學大意
- 三 生理學大意
- 四 一般看護法
- 五 治療介補
- 六 產婆學（妊娠分娩產褥ノ正規經過及其ノ取扱法）
- 七 初生兒狀況及其ノ取扱法
- 八 消毒法
- 九 模型演習
- 十 臨床實習

第二二年

- 一 修身
- 二 產婆學（妊娠分娩產褥ノ異狀經過及其ノ取扱法）

- 三 初生兒疾病及看護法
- 四 產婆心得
- 五 模型演習
- 六 實地演習及臨床實習

第七條 生徒ハ毎年募集ス其ノ日時及人員ハ豫メ之ヲ廣告ス

第八條 生徒タルニハ左ノ各號ニ該當シ且入學試験ニ及第スルヲ要ス

- 一 年齡滿十八年以上ニシテ家事ニ係累ナキ者
- 二 身體健全品行方正ナル者
- 三 高等小學校卒業若ハ高等女學校二年以上ノ課程ヲ終了シ又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第九條 入學試験ハ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ

- 一 讀書
- 二 作文
- 三 書取

○產婆養成科規則

四 算 術

五 試 問

第十條 入學志願者ハ第一號書式入學願ニ履歷書、戶籍謄本、最近撮影ノ寫眞及受験料金壹圓ヲ添ヘ差出スヘシ但シ既納ノ受験料ハ受験者ノ都合ニ依リ入學願ヲ取消スコトアルモ之ヲ返付セス

第十一條 入學ヲ許可セラレタル者ハ第二號書式ニ依リ七日以内ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第十二條 生徒ハ通學トシ保證人ト同居スルコトヲ要ス

第十三條 授業料ハ一箇月金壹圓五拾錢トシ毎月一日ヨリ五日マテニ納付スヘシ但シ七八兩月分ハ納付ニ及ハス

既納ノ授業料ハ之ヲ還付セス

第十四條 授業料ヲ期限内ニ納付セサル者ハ講義及實習ニ出席スルコトヲ得ス

第十五條 試験ヲ分チテ進級試験及卒業試験トス

進級試験ハ第一年ノ授業ヲ終リタル後卒業試験ハ第二年ノ授業ヲ終リタル後之ヲ行ヒ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第十六條 試験ノ成績ハ一科目百點ヲ以テ最高トシ一科目四十點以上總平均六十點以上ヲ以テ及第ト

ス

第十七條 生徒ハ半途退學ヲ許サス

第十八條 在學中不都合ノ行爲アリ又ハ成業ノ見込ナキ者ニハ退學ヲ命ス

第十九條 生徒ハ醫院ノ規則ヲ遵守シ職員及看護長ノ命ニ從フヘシ

(第一號、第二號書式略)

○ 防疫委員規程

第一條 防疫委員ハ附屬醫院ニ於ケル防疫ニ關スルコトヲ處理ス

第二條 防疫委員ハ委員長、常任委員、幹事及臨時委員ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長ハ附屬醫院長ヲ以テ之ニ充ツ

常任委員ハ二人トス委員長ノ上申ニ依リ總長之ヲ囑託ス

幹事ハ附屬醫院勤務ノ事務官ヲ以テ之ニ充ツ

臨時委員ハ検査開始ノ場合委員長ノ上申ニ依リ總長之ヲ囑託ス

第三條 防疫委員ノ事務ニ關シ附屬員ヲ置ク

○ 防疫委員規程

附屬員ハ委員長之ヲ命ス
附屬員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

○工學部規程

第一章 入 學

第一條 九州帝國大學通則第六條及第九條ニ依リ本學部ニ入學セントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ第一第二及第三志望ノ學科ヲ選定シ通則第十條ニ依リ入學願書ヲ差出スヘシ

- 土木工學科
- 機械工學科
- 電氣工學科
- 應用化學科
- 採 鑛 學 科
- 冶 金 學 科
- 造 船 學 科

航 空 學 科

第二條 九州帝國大學通則第十條第一項ノ期日以後ニ於テ入學願書ヲ提出スル者ニハ通則第七條ヲ適用セス

第三條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ入學セントスル者ハ專門學校程度ノ工業學校卒業者、高等師範學校本科理科卒業者及之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヲ要ス
第四條 前條ノ入學志望者ハ二月十五日迄ニ學部長宛願出ツヘシ

第二章 授 業

第五條 各學期ノ授業期日ハ左ノ如シ

第一學期

四月十六日ヨリ七月十日ニ至ル
九月十一日ヨリ十月十七日ニ至ル

第二學期

十一月一日ヨリ十二月二十五日ニ至ル
一月八日ヨリ三月十日ニ至ル

○工學部規程 第一章 入學 第二章 授業

第六條 本學部ニ於テ教授スル科目ノ種類及授業時間數ハ別表第一ニ依ル

第七條 學生ハ前條ノ科目ヲ自由ニ選擇シテ修學スルコトヲ得但シ授業上定員ノ制限ヲ要スル科目ニ就テハ第九條ニ依リ選抜決定ヲ受クルコトヲ要ス

特ニ定ムル科目ニ就テハ別表第一ニ掲クル所ニ依リ豫メ必要ナル準備科目ヲ履修スルコトヲ要ス但シ實驗、實習、製圖ヲ除キ試験ヲ受クルコトヲ志望セサル科目ニ就テハ此限りニアラス
前項ノ準備科目ハ左ノ三種トス

第一種 豫メ試験ニ依リ合格スルコトヲ要スルモノ

第二種 豫メ修學ヲ終ルコトヲ要スルモノ

第三種 豫メ修學ヲ終ルカ又ハ同時ニ修學スルコトヲ要スルモノ

第八條 學生ハ其ノ修メントスル科目ヲ當該科目授業開始前ニ擔任教官ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第九條 實驗、實習、製圖其ノ他授業上定員ノ制限ヲ要スル科目ニ對シ志望者數定員ヲ超過スルトキハ當該擔任教官ノ報告ニ依リ學部長教授會ニ諮リ修學者ヲ選抜決定ス但シ志望者中當該科目ヲ第十條ノ試験科目トナス者定員ト同數ナル時ハ本條ノ手續ニヨラス擔任教官ニ於テ之ヲ優先承認ス
前項ノ定員數ハ豫メ教授會ニ於テ之ヲ決定ス變更ノ場合亦同シ

第十條 前條ノ科目ニ於テ學期ノ中途生シタル缺員ニ對シ補充スル場合ハ之ヲ公表シ志望者ノ申出

テニ依リ更ニ前條ノ規定ニ準シ補充者ヲ決定ス

第十一條 學生ノ在學期間ハ六年ヲ超ユルコトヲ許サス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

第三章 科目試験

第十二條 學生修學セル科目ニ就キ試験ヲ受ケントスルトキハ第一學期ニ於テハ十月十一日迄ニ第二學期ニ於テハ三月一日迄ニ擔任教官ニ申出ツヘシ

第十三條 試験ハ十月十八日ヨリ十月三十一日迄及三月十一日ヨリ三月二十八日迄ノ間ニ於テ之ヲ行フ但シ場合ニ依リ本條ノ期間以外ニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

第十四條 各科目ニ就テノ合格不合格ハ試験ノ成績ニ依リ之ヲ決定ス但シ擔任教官ノ見込ミニ依リ平素ノ成績考査ヲ以テ試験ニ代用スルコトアルヘシ

第十五條 合格シタル科目ニ對シテハ希望ニ依リ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第四章 學士試験

第十六條 大學令第十條ニ依リ學士ノ稱號ヲ得ントスル者ノ爲ニ學士試験ヲ行フ

第十七條 學士試験ヲ分チテ科目試験及論文試験トス

○工學部規程 第三章 科目試験 第四章 學士試験

第十八條 前條ノ科目試験トハ別表第二ノ學科別ノ一ニ屬スル全試験科目ニツキ第三章ノ規定ニ依リテ行フ試験ヲ云フ

第十九條 論文試験ハ一定ノ問題ニ就キ作製セル論文報告計畫等ノ審査及口頭試問ヲ以テ之ヲ行フ前項ノ問題ハ豫メ所屬學科教授ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第二十條 論文試験ハ第十八條ニ依ル科目試験ニ合格シ且ツ別ニ定ムル所ノ學外演習及見學ヲ終了シタル後ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二十一條 論文試験ハ三月中ニ之ヲ行フモノトス但シ在學三年ヲ超ユル者ニ對シテハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ

第二十二條 學士試験ヲ受ケントスル者ハ別表第二ノ學科別ノ一ヲ選定シ論文試験ヲ受ケントスル時ヨリ少クトモ一年以前ニ所屬學科ノ教授ヲ經テ學部長ニ届出ツヘシ

第二十三條 別表第二ニ掲ケタル以外ノ學科別ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ學部長教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於ケル試験科目ハ其ノ都度之ヲ決定ス

第五章 聽講生

第二十四條 九州帝國大學通則第八十二條ニ依リ本學部聽講生タルノ許可ヲ得ントスル者ハ學期毎ニ

志望科目ヲ選定シ履歷書ヲ添ヘ願書ヲ學部長ニ差出スヘシ

第二十五條 聽講生ニハ試験ヲ行ハス

附 則

第二十六條 別表第一科目及授業時間數並別表第二學科類別及試験科目ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 舊規程ニ依リ入學シタル學生ニ對シテハ別ニ經過規程ヲ定メ之ヲ適用ス但シ新規程ノ一部若ハ全部ニ就キ履修セントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

附 則

本改正ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科課程及試験科目ニ付適宜斟酌ヲ加フ但シ昭和十年三月學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

○工學部規程 第五章 聽講生